

2023 年度入学生用
(令和 5 年度)

看護学研究科要覧



大阪公立大学大学院 看護学研究科

目次

I. 看護学研究科の教育目的・理念・目標	1
II. 履修要項	
1. 専攻・分野等の名称、修了時の学位、入学定員	2
2. 学年・学期・授業期間等	2
3. 授業時間	2
4. 授業科目の種類	3
5. 授業科目の単位、単位制	3
6. 履修課程と履修上の注意	3
7. 科目ナンバリングのルール	5
8. 履修登録	6
9. 成績評価・単位	6
10. 成績評語と GPA 制度	7
11. 既修得単位の認定（再入学の場合を除く）	8
12. 長期履修制度の利用について	8
13. 成績評価についての異議申立	8
14. 休講・欠席について	9
15. 他大学院との単位互換制度	11
16. 前期終了時の修了	11
17. 年限短縮等	11
18. 学籍について	12
19. 修学上の配慮・支援について	12
博士前期課程	
20. 博士前期課程ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー	13
21. 研究指導教員の決定と研究指導の方法	14
22. 博士前期課程修了要件	20
23. 学位論文と学位	21
24. 博士前期課程標準履修課程	24
25. 博士前期課程分野別履修モデル	28
26. 各種資格（受験・受審資格）	63
博士後期課程	
27. 博士後期課程ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー	67
28. 研究指導教員の決定と研究指導の方法	68
29. 博士後期課程修了要件	75
30. 学位論文と学位	75
31. 博士後期課程標準履修課程	79
32. 博士後期課程領域別履修モデル	80
研究指導に関する要領	
看護学研究科博士前期課程における研究指導に関する要領	82
看護学研究科博士後期課程における研究指導に関する要領	84
III. 大阪公立大学及び大阪公立大学工業高等専門学校の学術研究に係る行動規範	86

I. 看護学研究科の教育目的・理念・目標

■教育目的・目標

【博士前期課程】

人間の存在と生命の尊厳を深く理解し、広い視野に立ち、精深なる学識を深め、高い倫理観を持った変革者、リーダーとしての実践的能力、研究的能力を有する人材を育成することを目的とする。

- (1) 保健医療福祉に関する知を科学的に追及できる基礎的研究能力を養う
- (2) 保健医療福祉に関わる課題について地域性や個別性を考慮した分析能力を養う
- (3) 国際的な視点を持ち、研究成果を発信できる基礎的コミュニケーション力を養う
- (4) 保健医療福祉の課題に関わる社会現象や生体や行動に関するデータを分析・理論化し、活用する能力を養う
- (5) 保健医療福祉と看護を含むケアの課題を学際的な視点から、探求する思考力を養う
- (6) 看護に関わる現象を分析し、課題解決やエビデンス構築に向けて理論的に主体的に探究する能力を養う
- (7) 高い倫理観に基づき、関連する学問領域における知識や技術を高度な実践、看護管理や看護教育に適用する力を養う
- (8) 専門性の高い知識と技術に基づく看護ケアを提供するとともに、看護実践の質の向上を目指す改革を推進できる能力を養う

【博士後期課程】

豊かな学識を有し、看護学を含む保健医療福祉分野において学術的研究を推進し、その深奥を究め、高い倫理観を持ち、自立して研究活動を行い、看護学の知の創造に貢献できる能力を有する人材を育成することを目的とする。

- (1) 保健医療福祉の課題解決や看護学の発展に向けて、学際的に研究を推進できる能力を養う
- (2) 看護や関連領域の知識や高い倫理観に基づき、看護のエビデンスを実社会の中で、科学的に検証し、活用する方法を養う
- (3) 社会の変革に向けて、保健医療福祉、教育において新たな価値を創造し、施策などへ参画できる変革者としてのリーダーシップを養う
- (4) 研究成果をグローバルに発信できるコミュニケーション能力を養う

■教育理念

生命と人権の尊重を基盤とし、保健医療福祉および社会の諸変化に対して人々のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）を志向した創造性豊かな実践や研究をけん引できる実践者、研究者、教育者を育成し、看護学および地域の発展と国際社会に貢献する。

Ⅱ．履修要項

1．専攻・分野等の名称、修了時の学位、入学定員

博士前期課程

専攻	学位	入学定員
看護学専攻	修士（看護学） Master of Nursing Science	50

博士後期課程

専攻	学位	入学定員
看護学専攻	博士（看護学） Doctor of Philosophy (Nursing Science)	10

2．学年・学期・授業期間等

学 年：4月1日～翌年3月31日

学 期：前期：4月1日～9月23日

後期：9月24日～翌年3月31日

休業日：

- ① 日曜日および土曜日（授業調整日を除く）
- ② 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日（祝日授業日を除く）
- ③ 春季休業3月20日から4月7日まで
- ④ 夏季休業8月10日から9月23日まで
- ⑤ 冬季休業12月24日から1月7日まで
- ⑥ その他学長が必要と認めた日

詳しい授業期間および試験期間等は、各年度当初に定められる「学事日程」によります。学事日程は、毎年度、本学Webサイトなどで確認してください。

ただし、担当教員が必要と認めたときは、その他の期間に授業や試験が行われることがあります。

3．授業時間

時限	時間
1時限	9:00-10:30
2時限	10:45-12:15
3時限	13:15-14:45
4時限	15:00-16:30
5時限	16:45-18:15

4. 授業科目の種類

全研究科を対象とする「大学院共通教育科目」があります。

大学院共通教育科目では、全ての大学院生に対して、研究に関する倫理的基盤を培うことを目的に、博士前期課程では「研究公正 A」が、博士後期課程では「研究公正 B」が開設されています。それら科目は各研究科・専攻の教育方針に基づき原則として必修科目です。その他にも、社会や科学技術の変化の本質を見抜く洞察力、社会的課題に積極的にコミットする姿勢の涵養を目指す科目が開設されています。

また、研究科・専攻によって「専門科目」および「研究指導科目」が開設されています。それら科目の設定単位数については、大学院設置基準に示されている時間の範囲内で定めます。また、講義、演習、実験、実習または実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせと割合に応じて、先に設定した時間に基づき単位数を定めます。

○科目区分および開設部局

科目区分	開設部局
大学院共通教育科目	国際基幹教育機構
専門科目	各研究科
研究指導科目	

5. 授業科目の単位、単位制

授業科目の単位においては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。単位の計算方法は、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して決定します。本研究科において開講する科目は次に掲げる基準により単位数を計算します。

※一般に1時間は45分授業を意味しており、2時間は90分授業（1時限）に相当します。

授業の方法	授業時間	単位数
講義・演習	毎週2時間 15週	1又は2単位
実習	週45時間	1単位

6. 履修課程と履修上の注意

（1）大学院共通教育科目

全研究科の学生が履修可能な科目として、大学院共通教育科目が開講されています。大学院共通教育科目は、複雑かつ多様な課題が日々新たに出現する現代社会に対応できる能力の修得を目的としています。科目名や単位数、必修・選択の区分、配当年次等については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（大学院生用）」および本冊子に記載されています。

（２）専門科目

専門科目においては、各研究科の専門科目に加えて、研究科等によっては共通科目を置き、それぞれの学問分野で共通に求められる知識や思考法等の知的な技法の修得等を目指します。専門科目の科目名、単位数、配当年次および必修・選択の区分は、看護学研究科・専攻の標準履修課程表を参照してください。

（３）研究指導科目

修了要件に必要な研究の指導を受けるため研究指導科目があります。内容は指導教員によって異なります。

（４）必修、選択および自由科目の区分

科目は必修、選択、自由科目の種類に区別され、各研究科・専攻の定める要件を満たして履修する必要があります。

- ・「必修科目」…当該専攻等の教育目的を達成するため、修了要件として修得を必要としている科目
- ・「選択科目」…学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を修了要件に算入する科目。（選択必修科目を含む）
- ・「自由科目」…履修できるが修了要件に算入しない科目

（５）遠隔授業について

一部授業は、授業支援システム (Moodle) 等によりオンラインで行うことがあります。

（６）集中講義について

週１回の授業ではなく、短期間で授業を行う集中講義を開講することがあります。集中講義の開講日については学生ポータル（UNIPA）により事前に周知します。集中講義の履修登録については、それぞれ前期・後期の履修登録期間中に登録してください。履修登録期間の時点で希望する集中講義の開講日が未定の場合でも、履修希望者は必ず登録してください。

（７）履修に関する相談について

① オフィスアワー

各授業担当教員は、オフィスアワーを設定しています。これは、指定された曜日・時間に学生が訪問し、履修に関することや授業中の疑問などを解決するための相談ができる時間のことです。大いに活用してください。オフィスアワーは、シラバスを参照してください。

② 相談窓口について

履修にあたっては、授業科目の内容説明（「国際基幹教育機構開設科目要覧（大学

院生用)」やシラバス)を参考にし、標準履修課程表を十分に参照するとともに、履修や進路に関し相談等がある場合は、看護学研究科教務事務担当または指導教員等に相談してください。

(8) 他の研究科等の授業科目の履修

研究科において必要と認める場合は、当該研究科の他の専攻の授業科目または他の研究科の授業科目を履修することができます。

さらに、研究科において必要と認める場合は、博士前期課程の学生が学士課程の授業科目を、博士後期課程の学生が学士課程または博士前期課程・修士課程の授業科目を履修することができます。なお、この場合、いずれも修得した単位を修了要件に含めることはできません。また、履修できる科目については大阪公立大学 Web サイトに掲載されている「他研究科生が履修可能な科目一覧」を確認したうえで、履修登録を希望する場合は、履修登録期間中に看護学研究科教務担当まで申し出てください。

(9) 科目名称について

科目名称の末尾に数字あるいは英字等の表現がある場合は、以下のルールを表しています。

- ・「〇〇論 1、2～」

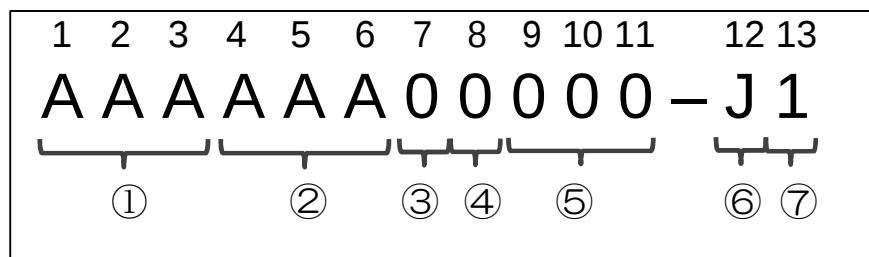
科目内容に順序性がある科目群について使用します。ただし、必ずしも 1 の履修が 2 の履修の前提条件になっているとは限りません。

- ・「〇〇論 A、B～」

科目内容に順序性がない科目群について使用します。

7. 科目ナンバリングのルール

科目ナンバリングは、教育課程の体系性を示すために、科目に記号と番号を組みあわせて付与することによって、科目の学問分野、カリキュラム内での位置づけを示す仕組みです。本学では、科目の属性に応じて、アルファベットと数字を組み合わせた 13 桁で構成された番号を、下記のとおり①開設部局・②学問分野・③科目レベル・④科目区分・⑤連番・⑥使用言語・⑦授業形態として各科目に付番しています。詳細は本学 Web サイトをご覧ください。



8. 履修登録

(1) 履修登録

① 学生ポータル (UNIPA) による履修登録

科目を履修するにあたっては、各学期はじめの定める期日まで（4月上旬・9月中旬）に学生ポータル（UNIPA）より履修登録をする必要があります。

履修を考えている科目は全て履修登録期間に登録してください。

② 登録上の諸注意

- ・ 標準履修課程表にある標準履修年次などによく注意して登録してください。試験で不合格となった科目の再履修は原則として次年度以降となりますが、一部の前期開講科目については、同一年度の後期に再履修できる場合があります。
- ・ 同一曜日時限に、2科目以上を重複して履修登録することはできません。
- ・ 既に単位を修得した科目を再び履修することはできません。
- ・ 修了予定者が集中講義・単位互換科目等を履修する場合、開講日により修了判定の際の単位に含むことができない場合があるので、履修登録時に教務担当窓口にご相談してください

③ 履修登録の確認

履修登録締め切り後の履修登録状況確認日・抽選結果発表日に、学生ポータル（UNIPA）の「抽選希望登録対象一覧」画面および「学生時間割表」画面上にて抽選科目の抽選結果および履修登録内容の確認が可能になります。履修登録状況確認日・抽選結果発表日に登録内容を点検し、希望どおり正しく登録されているか確認してください。特に、エラーが出ている科目については、履修登録修正期間内に修正してください。

※履修登録について、詳しくは「履修登録の手引」を参照してください。

(2) シラバス

シラバスには、各研究科のカリキュラムにおける科目の位置付けや授業の方法、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価の方法等が記載されています。履修登録にあたっては、授業時間割やシラバス等を確認し、自身の学習計画を立ててください。

9. 成績評価・単位

成績評価方法・単位の修得

履修科目の成績は、シラバスで授業科目ごとに示されている方法で各授業担当教員によって評価され、合格した科目に単位が与えられます。成績の評語については「10. 成績評語と GPA 制度」で記載します。成績は学生ポータル（UNIPA）で確認することができます（定められた期間を除く）。

10. 成績評語と GPA 制度

履修科目の成績は、下表の基準にもとづき評価され、発表は評語により行います。履修登録した各科目の成績に GP (Grade Point) を割り当てて、その平均を取ったものを GPA (Grade Point Average) といいます。学生の達成度を客観的に評価するための指標として学期ごとに算出され、ただ修了するために必要な単位を修得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としています。GPA は学期ごとに、以下の数式により算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該期で得た科目の GP 値} \times \text{その科目の単位数}) \text{ の合計}}{\text{※当該期に履修登録した総単位数}}$$

※GPA 対象科目のみ

評語	基準	100 点方式による素点等	GP
AA	授業目標を大きく上回って達成できている	100 点以下 90 点以上	4
A	授業目標を上回って達成できている	90 点未満 80 点以上	3
B	授業目標を達成できている	80 点未満 70 点以上	2
C	最低限の授業目標を達成できている	70 点未満 60 点以上	1
F	最低限の授業目標を達成できていない	60 点未満および成績評価基準にもとづく評価をしない科目で不合格となった科目	0
T (取消)		試験等での不正行為	0
N (認定)		単位認定された科目	対象外
P (合格)		成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目	対象外

GPA の対象となる科目は、原則として、履修登録した全ての科目です。ただし、修了の所要単位に算入されない科目、上表の単位認定された科目、成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目は GPA から除かれます。また、成績証明書には、発行した時点での通算 GPA が記載されます。

通算 GPA は、以下の数式により算出されます。

$$\text{通算 GPA} = \frac{(\text{各学期で得た科目の GP 値} \times \text{その単位数}) \text{ の合計}}{\text{※各学期で履修登録した単位数の合計}}$$

※GPA 対象科目のみ

なお、履修登録の締め切り以降は、原則として変更はできません。ただし、以下に示

す条件により履修を続けることが困難な場合、特別に履修中止を認める場合があります。

- ① 実際の授業の内容が公開されている『シラバス』と本質的に異なっている場合
- ② 授業についていけるだけの知識不足が発覚した場合

手続きの時期や方法など詳細については「履修登録の手引」を確認してください。

1 1. 既修得単位の認定（再入学の場合を除く）

本学大学院に入学する前に大学院（外国の大学院を含む）において科目を履修し、修得した単位については、研究科の履修課程に照らして有益と認められる場合に限り、合計 15 単位を超えない範囲で本学において修得したものとして認定されることがあります。該当者は、入学前までに看護学研究科教務事務担当へ申し出てください。

なお、他大学との単位互換制度により修得した単位数と合わせて 20 単位を超えることはできません。

1 2. 長期履修制度の利用について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得することができる制度です。

長期履修を出願することができる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 育児、介護等の事情を有する者
- ③ その他、相当の理由があると当該課程の研究科長が認める者

事情が解消した場合には短縮を申し出ることもできます。

長期履修制度の詳細については、看護学研究科教務事務担当に確認してください。

1 3. 成績評価についての異議申立

学生は、その学期の成績評価について、次のような場合に異議を申し立てることができます。

- ① 成績の誤記入等、担当教員の誤りであると思われるもの
- ② シラバス等により周知している成績評価の方法に照らして、評価結果等について疑義があるもの

異議申立を行う場合は、学生ポータル（UNIPA）に掲載する申立期間内に、各科目の開設部局（看護学研究科教務事務担当または基幹教育担当）へ申し出てください。

なお、これは成績評価に納得がいけない者が、問い合わせ、また異議申立を行う制度ではないので、注意してください。

14. 休講・欠席について

(1) 気象条件の悪化、交通機関の運休等による授業の休講および定期試験の延期措置について

① 気象条件の悪化による授業の休講について

キャンパス所在地を含む地域に暴風（暴風雪）警報、または各種の特別警報が発令されているときは原則として当該キャンパスでの全ての授業を休講とします（定期試験を含む）。ただし、別表のとおり警報解除の時刻により、全部または一部の授業を行います。

授業中または試験中に、キャンパス所在地を含む地域に暴風（暴風雪）警報、または各種の特別警報が発令されているときは、原則として、実施中の授業・試験についてはそのまま行い、その次の時限から当該キャンパスでの授業は休講とします。

また、学外実習などは、前記事項を踏まえ担当教員の指示により授業を行わないことがあります。（実習施設の所在地を含む地域に暴風（暴風雪）警報、または各種の特別警報が発令されたときは実習を行いません）

なお、気象条件の悪化による授業の休講は、対面授業においてのみ適用されるものであり、遠隔授業においてはこの限りではありません。

② 交通機関の運休による授業の休講について

次の交通機関のいずれかが運休（事故等による一時的な運行停止を除く）の授業は原則として休講とします（定期試験を含む）。ただし、別表のとおり運行再開の時刻により、全部または一部の授業を行います。

また、交通機関の計画運休や運休見通し情報が発表された場合は、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、事前に休講とする場合があります。

なお、交通機関の運休による授業の休講は、対面授業においてのみ適用されるものであり、遠隔授業においてはこの限りではありません。

● 杉本キャンパス

- ・ JR 阪和線全線
- ・ JR 大阪環状線全線および Osaka Metro 御堂筋線全線が同時

● 中百舌鳥キャンパス

- ・ 南海高野線全線
- ・ JR 阪和線全線および南海本線全線が同時
- ・ JR 大阪環状線全線および Osaka Metro 御堂筋線全線が同時

● 阿倍野キャンパス

- ・ JR 阪和線全線と南海本線全線が同時
- ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
- ・ JR 大和路線全線と近鉄南大阪線全線が同時
- ・ JR 学研都市線全線と京阪本線全線が同時
- ・ JR 神戸線・京都線全線と阪神本線・阪急神戸線・京都本線全線が同時

- 羽曳野キャンパス
 - ・ 近鉄南大阪線全線
 - ・ 近鉄バスの藤井寺駅前～府立医療センター間と古市駅前～大阪府立大学羽曳野キャンパス・府立医療センター間の両方が同時
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
- りんくうキャンパス
 - ・ JR 阪和線全線と南海本線全線が同時
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
- 梅田サテライト
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時

③ 地震発生時の取扱い

キャンパス所在地を含む地域で震度 5 強以上の地震が観測された場合、該当するキャンパスでの当日の授業は休講とします。翌日以降は災害状況等を考慮の上、休講措置の有無を判断します。なお、地震が大阪府内当該地域以外で発生した場合または震度 5 強未満の場合は、公共交通機関の運行状況に応じて対応することとします。

また、地震を起因とする自然災害等により、避難に関する情報が発表された場合についても状況により休講等の対応を行うことがあります。

(注意事項) ①～③による休講措置がないにもかかわらず、外的要因により登下校が困難になる場合の措置については、⑥を参照してください。また、上記にかかわらず、自らの身の安全を最優先に行動してください。

④ 遠隔授業（同時双方向型に限る）において授業支援システム（Moodle）が停止した場合の休講について

授業支援システムが停止した場合は同時双方向型の授業に限り、原則として休講とします（授業担当教員から履修者へ個別の連絡がある場合は除きます）。ただし、別表のとおり授業支援システムの復旧の時刻により、全部または一部の授業を行います。また、遠隔授業（オンデマンド型）については休講の措置を行いません。

(別表)

- 杉本、中百舌鳥、阿倍野、羽曳野、りんくうキャンパス

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	実施する授業
午前 7 時以前	－	全授業
午前 10 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 10 時を過ぎても解除されない 場合	全授業	－

● 梅田サテライト（月～金）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	実施する授業
午後 3 時以前	－	全授業
午後 3 時を過ぎても解除されない場合	全授業	－

● 梅田サテライト（土）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	実施する授業
午前 7 時以前	－	全授業
午前 10 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 10 時を過ぎても解除されない場合	全授業	－

⑤ その他注意事項

対面授業をオンライン中継する授業（ハイフレックス授業等）の取り扱いについては、対面授業を行っているキャンパスの授業が休講される場合にも同様に休講とします。

上記に挙げる理由以外にも、自然災害等によりキャンパスを含む所在地に避難に関する情報の発表や、Jアラート（全国瞬時警報システム）が発令された場合、学生の安全確保のために休講措置をとる場合があります。

なお、午前 9 時以降における授業の実施については、上記の取扱いを原則としつつ、状況に即して教育推進本部長が例外の判断をする場合があります。その際には、学生ポータル（UNIPA）により周知します。

⑥ 登下校が困難な場合の救済措置

上記により休講措置をとらない場合であっても、学生の居住地または通学経路にある地域で、次のいずれかに該当する事態が発生したことにより学生が授業等に出席できない場合（帰宅困難となる恐れがある場合含む）、後日、授業担当者に欠席届を提出し、配慮を申し出てください。

1. 居住地を含む地域における震度 5 強以上の地震が観測された場合
2. 居住地を含む地域における避難指示の発令
3. 居住地を含む地域における気象警報（暴風（暴風雪）警報、または特別警報）等の発表
4. その他災害等（居住地を含む地域または通学経路における上述の 3 事由に準ずる災害等）の発生
5. 通学経路上の交通機関の運休または大幅な遅延の発生

（２）授業欠席時の取扱いについて

授業を欠席する場合、欠席理由（病気、各種実習、介護等体験、クラブ活動、忌引等）の如何を問わず原則として「欠席届」を授業担当教員に提出してください。授業科目の成績評価等の配慮については、授業担当教員の裁量によります。「欠席届」は、学生ポータル（UNIPA）＞学生 Navi＞「授業・履修」からダウンロードできます。

なお、以下の場合には特例として通常と対応が異なります。

- 学校感染症に指定されている感染症（季節性インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等）に罹患した場合、出席停止となり、速やかに大学に報告が必要となります。報告方法等については授業支援システム (Moodle) の「学校感染症罹患時報告」を確認し、報告してください。
- 裁判員制度に伴う裁判に出席する場合
裁判員制度により裁判員（候補者）に選出され、裁判所に出頭するために授業を欠席しなければならない場合は、「欠席届」に加えて、裁判所からの呼出状(写)等を授業担当教員に提出することで、成績評価等についての配慮の対象となります。配慮の内容については、授業担当教員の裁量によります。

15. 他大学院との単位互換制度

教育上有益であると認められたときには、他の大学院等における授業科目の履修、研究指導の一部を受けることおよび外国の大学院への留学を認められることがあります。

その際に、他の大学院（外国の大学院を含む）との協議等に基づき、本研究科会議の承認を得て、当該大学院の科目を履修し単位を修得した場合は、15 単位まで修了に必要な単位として認められることがあります。

なお、入学前の既修得単位制度により修得した単位数と合わせて 20 単位を超えることはできません。

16. 前期終了時の修了

博士前期課程において在学期間が2年以上で、修了必要単位を修得した者は3月末だけでなく、前期終了時にも学位の授与を申請することができます。

学位を申請する者は、所定の期日までに学位授与申請書と学位論文等を提出する必要があります。詳細については、看護学研究科教務事務担当に問い合わせてください。

17. 年限短縮等

（１）年限短縮

博士前期課程・博士後期課程のいずれの場合も、優れた研究業績をあげた者は在学期間が短縮されることがあります。どのような場合に短縮されるかは、看護学研究科教務事務担当に確認してください。

(2) 在学期間短縮制度

本学大学院に入学する前に修得した単位(本学大学院学則に定める大学院の入学資格を得た後に、修得した単位に限ります)を本学大学院において修得したものとみなす場合であり、当該単位の修得により本学大学院の博士課程(本学大学院の博士前期課程を修了した場合の同分野の博士後期課程は除く)、修士課程、法学研究科の専門職学位課程、獣医学研究科の博士課程および医学研究科の博士課程の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で研究科が定める期間在学したものとみなすことができます。ただし、博士前期課程および修士課程については、少なくとも1年以上在学するものとします。

18. 学籍について

(1) 休学

病気その他やむを得ない理由で引き続き2ヶ月以上修学できない場合は、「休学願」を提出することにより、休学が認められることがあります。なお、「休学願」の提出は休学を開始する日の前日(前期からの休学の場合は3月31日、後期からの休学の場合は9月23日)までに行わなければなりません。また、休学を延長する場合も、上記と同様の手続きをおこなう必要があります。

休学期間は、通算して2年を超えることができません。休学期間は在学年数に算入しません。また、学年進行の時期は4月です。

(2) 復学

休学期間中にその事由が消滅した場合は、申し出て復学することができます。復学するためにはその学期の授業料を納入しなければなりません。

(3) 留学

留学を願い出る場合は、担当教員等による指導助言を受けた上で、留学を開始する日の前日までに「留学願」を提出しなければなりません。

(4) 退学

退学を希望する場合は、前期をもって退学する場合は前期末、後期をもって退学する場合は後期末までに「退学願」を提出しなければなりません。学期開始後に提出した場合は、その学期の授業料を納入しなければなりません。

(5) 除籍

指定された期日までに授業料を納入しなかった場合、あるいは在学年限内に所定の単位を修得できなかった場合で「退学願」の提出のないとき等は除籍となります。

(6) 再入学

退学または除籍された者が、再入学を願い出た場合は、教授会の選考を経て許可されることがあります。ただし、再入学の願い出は、退学または除籍の日から2年以内に限ります。

19. 修学上の配慮・支援について

疾病・障がいおよび社会的障壁を有する学生で個別具体的な修学上の配慮・支援を必要とする場合は、アクセシビリティセンターまたは看護学研究科アクセシビリティ支援委員に申し出てください。

博士前期課程

20. 博士前期課程ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

(1) ディプロマポリシー

本研究科博士前期課程では、所定の期間在学して所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた学生に対し、修士（看護学）の学位を授与する。

- ① 看護学に関わる基礎的研究能力
看護学を中心に保健医療福祉に関する知を科学的に追及できる基礎的研究能力
- ② 看護に関わる事象の分析能力
保健医療福祉に関わる課題について地域性や個別性を考慮し分析する能力
- ③ 研究成果を発信できるコミュニケーション能力
国際的な視点を持って研究成果を発信できる基礎的コミュニケーション能力
- ④ データサイエンスを活用する能力
保健医療福祉に関する研究に必要な課題を社会現象や生体行動のデータより理論化し、活用する能力
- ⑤ 学際的に探究する思考力
保健医療福祉と看護を含むケアの課題を学際的な視点から、探求する思考力
- ⑥ 看護に関わる事象を理論的に探究する力
看護に関わる現象を分析し、課題解決やエビデンス構築に向けて理論的に主体的に探求する能力
- ⑦ 看護実践の場における高度な実践力、教育力
豊かな人間性と高い倫理感に基づき、関連する学問領域における知識や技術を高度な実践、看護管理や看護教育に適用する能力
- ⑧ 看護実践の変革をけん引する能力
専門性の高い看護ケアを提供し、看護実践の質の向上を目指す改革を推進できる能力

(2) カリキュラムポリシー

- ① エビデンスを追求する基礎的研究能力、関連する学問分野の研究を学び、学際的に探求する思考力を養う。
- ② 研究成果を発信できるコミュニケーション能力を修得する。
- ③ 高い倫理観を持ち、看護に関わる現象を分析し、チーム医療において社会を変革できる。
- ④ 看護を体系化するための理論と、各専門分野の課題抽出につなげる。
- ⑤ 研究課題を抽出し、研究を遂行し、研究成果を発信できる。

2 1. 研究指導教員の決定と研究指導の方法

(1) 研究指導教員の決定

受験希望者は、受験前にあらかじめ希望する分野の研究指導教員との面談により専攻分野の教育・研究内容の説明を受け、予定している研究課題と履修計画の確認を行います。

研究指導教員については、事前相談を行い、希望する研究テーマ、準備状況を確認し、教育課程並びに研究指導教員との適合性について確認の上、出願時に希望する分野と主研究指導教員を申告します。

研究指導教員は、専攻分野の教授（主研究指導教員）1 名ならびに副指導の複数担当とし、多角的な観点から専門性を考慮し、指導を受けられるようにします。副研究指導教員の決定は学生の希望、研究テーマや研究手法を考慮し、看護学研究科委員会において決定されます。博士前期課程は「修士論文・課題研究の研究指導計画」を参照してください。

① 主研究指導教員の役割

- ・ 学生の希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境などを考慮した上で研究課題を決定し、研究指導を行います。
- ・ 研究指導に加え、学生の教育・研究に必要な授業科目について、シラバスと領域履修モデルを参考にして個々の学生の指導を行います。
- ・ 主研究指導教員は、学生の希望に基づき学生ごとに1 名を決定します。

② 副研究指導教員の役割

- ・ 主研究指導教員と協力して学生の研究指導を補助的にを行います。
- ・ 副研究指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談や調整を行います。
- ・ 副研究指導教員は、学生の希望に基づき学生ごとに2 名以上を決定します。

(2) 研究指導計画

「修士論文・課題研究の研究指導計画」に記載の通りです。この計画に沿って学生ごとに詳細な研究指導計画を指導教員が学生とともに以下のように作成します。

- ① 学生は、決定した研究課題に関して先行研究の整理を行い、研究計画を立案します。
- ② 主研究指導教員は、学生が研究課題に関して自立して国内外の先行研究の調査・整理を行い、独自の研究計画を立案できるように指導します。
- ③ 主研究指導教員は、学生が記入し提出した学生ごとの研究指導計画書の研究計画欄の記載に沿って指導計画をたて、指定の用紙に記入し保管します。
- ④ 主研究指導教員は毎年、または必要時研究指導計画書を更新し、学生と副研究指導教員決定後は副研究指導教員に明示します。
- ⑤ 主研究指導教員は、研究指導報告書を指定の用紙に記載し、論文の審査結果と同時に研究指導計画書、研究指導報告書を提出します。

修士論文・課題研究の研究指導計画

指導の時期		研究指導事項	研究指導のプロセス・方法
入学前	入学願書 出願前	主研究指導教員の 選択	出願前に事前相談を行い、希望する研究テーマ、準備状況を確認し、教育課程並びに指導教員との適合性について確認の上、出願時に希望する分野と主研究指導教員を申告する。
1 年 次	4月	主研究指導教員の 決定	主研究指導教員は、学生の希望を尊重し、受験前からの事前相談、入学後のオリエンテーションに基づき、看護学研究科委員会で決定する。学生の修学相談体制について、看護学研究科の教授が担うことを説明する。 主研究指導教員は、学生の教育・研究に必要となる授業科目について、シラバスと分野別履修モデルを参考にして履修指導を行う。学生の希望を尊重し、経験・能力・修了後の進路等を考慮する。勤務を継続しながら修学する長期履修学生に対しては、勤務と履修の両立を考えながら履修計画を指導する。 学生の関心ある研究課題、主研究指導教員の専門分野、指導環境などを考慮し、研究テーマを絞り、研究指導を行う。国内外の文献検討及びディスカッションを通じて研究課題を洗練し、研究デザインの選定と研究計画書の作成を指導する。
1・2 年 次	随 時	副 研 究 指 導 教 員 の 決 定	主研究指導教員が研究計画及び論文全般について指導するのに対し、副研究指導教員は、それらの助言を行う。
	1月以降 (随時)	研 究 計 画 書 の 提 出	主研究指導教員と副研究指導教員は協力し、学生が研究計画書を作成し、提出できるように指導する。
	2月以降 (随時)	研 究 計 画 書 及 び 研 究 倫 理 の 審 査	研究計画書の審査は、事前審査を実施した後、看護学研究科委員会で審議を行う。合格した学生は月末の研究倫理審査委員会に研究倫理審査申請書、添付資料及び研究計画書を提出し、審査を受ける。研究倫理審査の申請に際し、主研究指導教員と副研究指導教員は、研究における倫理的配慮について指導を行う。 必要に応じて、調査施設の研究倫理審査を受審する。学生は研究倫理審査の承認を得て研究を開始する。
	研究計画書 及び研究倫 理審査終了 後	研 究 の 実 施	主研究指導教員は研究の進捗状況を確認し、実施状況並びにデータ分析について指導を行う。研究が円滑に進行するように問題点や解決方法等の助言を行う。研究成果を論理的かつ系統的に記述できるように論文の作成を導く。

2・3年次	1月中旬	修士論文・課題研究の提出	主研究指導教員と副研究指導教員は協力し、学生が修士論文・課題研究を作成し、提出できるように指導する。提出前に博士前期課程修了に必要な修得単位を確認するように助言する。
	1月下旬～ 2月上旬	修士論文・課題研究の審査と最終試験	修士論文・課題研究は、大学院学則並びに看護学研究科論文審査基準に基づき、主査、副査による審査委員会を構成し、審査を行う。主査及び副査は、論文審査後に最終試験の口頭試験を行う。 審査委員会は、修士論文・課題研究の審査結果の要旨と最終試験の結果の要旨を看護学研究科委員会に提出する。
	2月中旬	論文審査と最終試験の可否判定	看護学研究科委員会で主査は審査結果の報告を行い、可否を判定する。
	3月上旬	論文発表会	学位論文審査及び最終試験に合格した学生は、公開形式で論文を発表する。主研究指導教員は論文発表に向けて、研究のプレゼンテーションの質を高めるように指導する。
	3月中旬	修士論文・課題研究の提出	学位論文審査及び最終試験に合格した学生は、学位論文をPDF化し、記憶媒体に格納し、指示された方法で提出する。

※長期履修学生は、主研究指導教員と相談の上、研究計画を立ててください。

(3) 研究課題の設定と研究計画書の作成指導

研究指導教員は、1年次に履修する演習科目の中で、各学生が研究課題を決定し、研究デザイン、方法等、研究計画が立案・作成できるように指導します。研究計画立案後、研究倫理審査に向けて、研究指導教員が学生に対し倫理的配慮に関わる具体的な指導を事前に行います。学生は1年次1月以降に申請書類を提出し研究計画書審査を受けます。その後、研究計画書とともに本研究科研究倫理審査委員会に提出します。これらの審査を受けた後、必要に応じて研究を実施する施設での研究倫理審査を受けます。学生は、必要とされる倫理審査の結果を受け、研究計画書に沿った研究活動を展開します。

(4) 研究計画書作成・提出要領

① 研究計画書の作成

【様式】

A4 横書き 3～4 枚程度（枚数には表紙・文献を含まず、図表は含む）余白は、上下左右 30 mm 文字サイズは 10.5 ポイントです。

表紙には下記の項目を表記してください。

- ・研究課題（和文題目は英訳・英文題目は和訳を併記）
- ・提出年月日
- ・学籍番号、氏名
- ・主研究指導教員名

【内容】

- (a) 研究計画書には最低限以下の項目を含み、必要に応じて項目を追加してください。
 - ・目的と意義（背景）
 - ・研究方法
 - ・倫理的配慮
 - ・引用文献
- (b) 十分な文献検討の上、適宜文献を引用してください。
- (c) 本文中に図表を用いても構いません。

② 研究計画審査願・研究計画書の提出

研究計画審査願（様式1）を作成し、研究計画書と一緒に提出してください。

提出時期：1年次1月以降の毎月末日

（末日が土日・祝日の場合、直前の金曜日となります）

提出場所：看護学研究科事務室

提出部数：研究計画審査願1部、研究計画書2部

（5）研究倫理審査

研究倫理審査については看護学研究科研究倫理審査委員会を組織し、委員会規程にそって審査を行います。

看護学研究科研究倫理審査委員会では、人間を対象とする研究を審査の対象とし、審査対象となる研究において、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等の趣旨に沿った倫理的配慮がなされているかを審査します。同委員会は、本学の看護学部・看護学研究科教員他、看護学研究科以外の教員、学外の学識経験者等から構成されており、研究目的に倫理的問題がないか、研究方法は対象者の人権を擁護し、安全に対して適切に配慮されているか、予測される不利益及び危険性に対して適切に配慮されているか、対象者に研究協力の同意を得る方法は適切か、研究で得られたデータの取り扱いが適切か、研究成果の公表の際、対象者の匿名性を確保し、プライバシーを保護しているか等について審査します。

学生は、修士論文、課題研究に関する研究計画書に基づいて、研究倫理審査申請書を作成し、研究指導教員の指導を受け、期限までに看護学研究科研究倫理審査委員会に研究倫理審査申請を行います。研究倫理審査申請前には、看護学研究科が定める研究倫理教育（APRIN eラーニングプログラム；旧 CITI Japan）を受講します。

年度 大阪公立大学大学院看護学研究科 博士前期課程研究指導計画書

年 月 日作成

年 月 日修正

年 月 日修正

学籍番号			学生氏名		
領域・分野名		年次	年次	入学年度	年度
研究題目					
主研究指導教員名		副研究指導教員名			

研究室や個人のテーマなど、より詳細に、具体的に記載してください。

○研究計画（学生が記入し、主研究指導教員に提出）：（研究計画・方法、学会発表、論文作成等の計画を記載）

1 年次 4 月～1 月：研究計画の立案

指導教員と相談し、決定した研究課題に関して先行研究を整理し研究計画を立案する。

1 年次 1 月：研究計画書の提出

研究計画書は看護学研究科委員会で審査を行い、合格した学生は研究倫理審査申請を行う。

1 年次 2 月～2 年次 1 月：研究の遂行

研究計画に従ってデータ収集・解析等を進め、その成果を修士論文としてまとめる。

2 年次 1 0 月～1 月：修士論文の作成

これまでの研究成果をもとに修士論文の作成を開始し、指導教員のもとで修士論文をまとめる。

2 年次 1 ～2 月：修士論文の提出・発表

修士論文を指定する期日までに提出し、公開の発表会で論文の内容を発表する。

1 年間の研究計画がわかりやすくなるように、1 年ごとに記載してください。

研究室や個人のテーマなど、より詳細に、具体的に記載してください。

○研究指導計画（主研究指導教員が、記入、年1回および必要時更新する）

1 年次 4 月～1 月：研究計画の立案

学生と相談して決定した学生の研究課題・研究計画立案について、研究方法、文献の検索や読解方法、研究倫理審査の申請に際し、研究における倫理的配慮について指導する。

1 年次 1 月：研究計画書の提出

研究倫理委員会での審査の手続きの指導を行う。

1 年次 2 月～2 年次 1 月：研究の遂行

研究指導計画書を学生と副研究指導教員に明示する。学生が実施している研究の進捗を随時確認し、実験・調査等の手法やデータ解析の指導等、研究の進捗状況に応じた指導を行う。

2 年次 1 0 月～1 月：修士論文の作成

研究成果をもとに修士論文の構成や図表の作成、文献の整理・引用等、論文のまとめ方を指導する。

2 年次 1 ～2 月：修士論文の提出・発表

修士論文を提出できるよう指導し、発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。

1 年間の研究指導計画がわかりやすくなるように、1 年ごとに記載してください。

年 月 日作成
年 月 日修正
年 月 日修正

学籍番号			学生氏名		
領域・分野名		年次	年次	入学年度	年度
研究題目					
主研究指導教員名		副研究指導教員名			

○研究指導報告（研究指導計画書から異なった指導を行った場合はその内容を記載してください。主研究指導教員が記入し、看護学研究科事務室に提出）

研究指導計画書に基づき指導を進めた。
その中で2年次9月の研究成果の中間発表において「〇〇」について不足していると研究グループ内で指摘を受け、該当部分について予備的な実験を行うように指示した。
また、論文作成時に△△の解析について知識が不足していることが判明したので、書籍を紹介した。

○研究業績等

学会発表・投稿論文・受賞等や特記事項があれば記載してください。

研究指導計画書から変更がない場合は、研究指導計画書の通り指導を行った、旨をご記載ください。

22. 博士前期課程修了要件

本研究科博士前期課程のディプロマポリシーである看護学に関わる基礎的研究能力、看護に関わる事象の分析能力、研究成果を発信できるコミュニケーション能力、データサイエンスを活用する能力、学際的に探究する思考力、看護に関わる事象を理論的に探究する力、看護実践の場における高度な実践力、教育力、看護実践の変革をけん引する能力を修得するために、以下の修了要件を設定しています。

修了要件は以下の通りとなります。

【修士論文コース】

（実践看護学領域）

大学院共通教育科目から 1 単位（「研究公正 A」 必修 1 単位）、実践看護科学共通科目 4 単位（「理論看護学」、「看護学研究法」 必修 4 単位）、実践看護科学の分野科目 16 単位（「実践看護科学特別研究」 必修 8 単位、基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目 選択 8 単位）、その他大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から選択科目 10 単位以上で、必修 13 単位、選択 18 単位以上、計 31 単位以上修得してください。

（先進ケア科学領域）

大学院共通教育科目から 5 単位（「研究公正 A」 必修 1 単位、選択 4 単位）、先進ケア科学共通科目 12 単位以上（「ケア科学研究論」、「研究倫理（医学系研究倫理）」 必修 4 単位、選択 8 単位以上）、先進ケア科学科目 14 単位（「先進ケア科学特別研究 1」、「先進ケア科学特別研究 2」 必修 8 単位、ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目選択 6 単位）で、必修科目 13 単位、選択科目 18 単位以上、計 31 単位以上修得してください。

【実践看護研究コース】

大学院共通教育科目から 1 単位（「研究公正 A」 必修 1 単位）、実践看護科学共通科目 4 単位（「理論看護学」、「看護学研究法」 必修 4 単位）、実践看護科学の分野科目 12 単位（「実践看護科学課題研究」 必修 4 単位、基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目 選択 8 単位）、その他 大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から選択科目 14 単位以上で、必修 9 単位、選択 22 単位、計 31 単位以上修得してください。

23. 学位論文と学位

(1) 学位の授与

本研究科博士前期課程を修了した者には、修士（看護学）の学位を授与します。

(2) 学位申請資格

博士前期課程に2年以上在学し、所定の単位を修得した者、あるいは修得見込みの者は、学位の申請をすることができます。

(3) 学位論文審査申請方法

学位申請資格を有し、学位の審査を希望する者は、定められた期日までに、以下の提出書類を看護学研究科事務室に提出してください。

提出書類：

<修士論文コース>

- | | | |
|-----------|-----|----------------------|
| ① 学位授与申請書 | 1 部 | |
| ② 修士論文 | 3 部 | （和文題目は英訳・英文題目は和訳を併記） |
| ③ 学位論文の要旨 | 3 部 | |

<実践看護研究コース>

- | | | |
|-----------|-----|----------------------|
| ① 学位授与申請書 | 1 部 | |
| ② 課題研究 | 3 部 | （和文題目は英訳・英文題目は和訳を併記） |
| ③ 学位論文の要旨 | 3 部 | |

(4) 論文審査方法

① 論文審査委員

論文審査委員会は、看護学研究科委員会において選任された主査1名及び副査2名で構成します。主査は、主研究指導教員以外の教授が務め、副査は、研究課題に精通した教員が努めます。

② 審査の方法

修士論文及び課題研究の審査は、論文審査、口頭試験によって行います。審査終了後、引き続き最終試験を行います。最終試験は、修士論文審査を担当した審査委員会で個別に行います。最終試験では、博士前期課程で修得した知識、思考能力などを含め総合的に口頭試問を行います。

③ 学位論文審査基準

<修士論文コース>

【満たすべき水準】

修士論文は、ディプロマポリシーに基づき、保健医療福祉に関わる基礎的な研究方法や態度を修得し、看護に関わるエビデンスの構築に関わる研究者、専門的職業人として役割を果たし得る能力と幅広い学識を有することを証示するに足るものであることをもって、その水準とします。

【評価項目】

- ◆ 看護専門分野への応用可能性が認められる。
- ◆ 研究成果に発展可能性が認められる。
- ◆ 研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられており、分析結果に妥当性がある。
- ◆ 研究計画、研究実施に際して十分な倫理的配慮がなされている。
- ◆ 論文の構成が適切で、一貫性がある。

<実践看護研究コース>

【満たすべき水準】

課題研究はディプロマポリシーに基づき、保健医療福祉に関わる基礎的な研究方法や態度を修得し、看護に関わるエビデンスの構築に関わる高度実践、教育、看護管理における専門的職業人として役割を果たし得る高度な実践的能力と幅広い学識を有することを証示するに足るものであることをもって、その水準とします。

【評価項目】

- ◆ 看護実践に関わる重要な研究である。
- ◆ 研究成果に有用性が認められる。
- ◆ 研究目的を達成するために適切な研究方法が用いられており、分析結果に妥当性がある。
- ◆ 研究計画、研究実施に際して十分な倫理的配慮がなされている。
- ◆ 論文の構成が適切で、一貫性がある。

(5) 学位授与の決定

論文審査委員会は、修士論文・課題研究の審査結果と最終試験の審査結果の要旨を看護学研究科委員会に提出します。看護学研究科委員会は、審査委員会から提出された修士論文・課題研究の審査結果と最終試験の審査結果の要旨に基づき、最終的な合否の判定を行います。

（６）特定の課題についての研究成果の審査を行う場合

実践看護研究コースにおいては、看護実践、看護管理、看護教育に関する特定の課題に取り組む課題研究論文を修士論文に替えることができます。

（７）修士論文及び課題研究発表会

審査及び最終試験に合格した学生は、公開形式で論文を発表します。

発表会は、学生主体で実施します。

（８）修士論文及び課題研究の提出

学位授与式終了時まで、学位論文１部（全文・要旨の電子データ）を看護学研究科事務室に提出してください。

24. 博士前期課程標準履修課程

科目 区分	授 業 科 目	修論コース					実践看護 研究コース		授業時間数	学年進行							
		先進ケア科学 領域		実践看護科学 領域			実践看護科学 領域			1年次		2年次					
		単位数		単位数			単位数										
		必修	選択	必修	選択	自由	必修	選択		講義	演習	実習	前期	後期	前期	後期	
大 学 院 共 通 教 育 科 目	研究公正A	1		1			1		大学院共通教育科目については、国際基 幹教育機構開設科目要覧(大学院生用) を参照								
	科学英語		2		2			2									
	Academic Writing		2		2			2									
	Academic Presentation		2		2			2									
	大学院キャリアデザイン演習		2		2			2									
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会		1		1			1									
	戦略的システム思考力演習1		2		2			2									
	戦略的システム思考力演習2		2		2			2									
	イノベーション創出型研究者養成		2		2			2									
	医療の品質管理A		2		2			2									
	グローバル経営特論		2		2			2									
	化学産業論		1		1			1									
	バイオデザイン		2		2			2									
	人権問題論		2		2			2									
大学教育基礎演習		1		1			1										
専 門 科 目	実 践 看 護 科 学 共 通 科 目	理論看護学			2		2		30				○				
		看護学研究法			2			2		30				○			
		看護倫理学				2		2	30				○				
		看護政策学				1		1	15					○			
		コンサルテーション論				1		1	15					○			
		病態生理学				2		2	30					○			
		代謝病態生理学				2		2	30					○			
		がん病態学				2		2	30					○			
		臨床薬理学				2		2	30						○		
		臨床疾病治療論				2		2	30					○			
		フィジカルアセスメントA				2		2		60				○			
		フィジカルアセスメントB				2		2		60					○		
		データヘルス方法論A				1		1	15					○			
		データヘルス方法論B				1		1	15					○			
		生体感染防御論				2		2	30					○			
		異文化看護フィールドワークA				2		2		60					○		
		異文化看護フィールドワークB				1		1		30					○		
		新「共通特論Ⅰ」:臨床腫瘍学総論						2	30					○			
		新「共通特論Ⅱ」:臨床腫瘍学各論						2	30						○		
	補完代替療法学				1		1	15					○				
	公共政策論				2		2	30					○				
	人材管理論				2		2	30					○				
	ヘルスケア経営論				2		2	30						○			
	先 進 ケ ア 科 学 共 通 科 目	ケア科学研究論	2						30					○			
		研究倫理(医学系研究倫理)	2						30					○			
		ケア科学英語論文作成法		2					30							○	
		ケアデータマネジメント		2					30						○		
		ケア組織マネジメント論		2					30							○	
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		2					30						○		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		2					30						○		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		2					30						○		
		看護学基礎		2					30						○		
	看護学基礎演習		2						30						○		
	基 礎 看 護 科 学	看護技術学特論1				2			30					○			
		看護技術学特論2				2			30						○		
		看護技術学演習1				2				60				○			
看護技術学演習2					2				60					○			
看護情報学特論1					2			30					○				
看護情報学特論2					2			30						○			
看護情報学演習1					2				60				○				
看護情報学演習2					2				60					○			
看護管理学特論1					2		2	30					○				
看護管理学特論2					2		2	30						○			
看護管理学演習1					2		2		60				○				
看護管理学演習2					2		2		60					○			
マネジメント実践フィールドワーク							4			180					○	○	
看護教育学特論1					2		2	30					○				
看護教育学特論2					2		2	30						○			
看護教育学演習1A					2				60				○				
看護教育学演習1B							2		60				○				
看護教育学演習2A					2				60					○			
看護教育学演習2B							2		60					○			
看護教育学実習1							2			90				○			
看護教育学実習2							2			90					○		

科目 区分			授 業 科 目	修論コース					実践看護 研究コース		授業時間数			学年進行					
				先進ケア科学 領域		実践看護科学 領域			実践看護科学 領域										
				単位数		単位数			単位数										
				必修	選択	必修	選択	自由	必修	選択	講義	演習	実習	前期	後期	前期	後期		
専 門 科 目	実 践 看 護 科 学	家族支援看護科学	母性看護学特論				2		自由				30			○			
			母性看護学援助特論				2						30				○		
			母性看護学演習1				2						60		○				
			母性看護学演習2				2						60			○			
			家族看護学				2			2	30				○				
			家族看護学特論				2			2	30				○				
			家族看護学援助特論1				2			2	30					○			
			家族看護学援助特論2				2			2	30					○			
			家族看護学援助特論3				2			2	30					○			
			家族看護学演習1A				2					60		○					
			家族看護学演習1B							2		60		○					
			家族看護学演習2A				2					60			○				
			家族看護学演習2B							2		60			○				
			家族看護学実習1							2			90		○				
			家族看護学実習2							6			270				○	○	
			家族看護学実習3							2			90				○	○	
			小児看護学特論				2			2	30			○					
			小児看護学援助特論1				2			2	30			○					
			小児看護学援助特論2				2			2	30				○				
			小児看護学援助特論3				2			2	30					○			
			小児看護学援助特論4				2			2	30				○				
	小児看護学演習1A				2					60		○							
	小児看護学演習1B							2		60		○							
	小児看護学演習2A				2					60			○						
	小児看護学演習2B							2		60			○						
	小児看護学実習1							2			90		○	○	○	○			
	小児看護学実習2							3			135				○	○			
	小児看護学実習3							5			75				○	○			
	生活支援看護科学	地域看護学特論				2				30			○						
		地域看護学援助特論				2				30				○					
		地域看護学演習1				2					60		○						
		地域看護学演習2				2					60			○					
		精神看護学特論				2			2	30			○						
		精神看護学援助特論1				2			2	30			○						
		精神看護学援助特論2				2			2	30				○					
		精神看護学援助特論3				2			2	30				○					
		精神看護学援助特論4				2			2	30				○					
		精神看護学援助特論5				2			2	30				○					
		精神看護学援助特論6				2			2	30				○					
		精神看護学援助特論7				2			2	30				○					
		精神看護学演習1A				2					60		○						
		精神看護学演習1B							2		60		○						
		精神看護学演習2A				2					60			○					
		精神看護学演習2B							2		60			○					
		精神看護学実習1							2			90		○	○	○			
		精神看護学実習2							2			90		○	○	○			
		精神看護学実習3							2			90		○	○	○			
		精神看護学実習4							2			90		○	○	○			
		精神看護学実習5							2			90		○	○	○			
		老年看護学特論				2			2	30			○						
老年看護学援助特論1					2			2	30			○							
老年看護学援助特論2					2			2	30				○						
老年看護学援助特論3					2			2	30				○						
老年看護学演習1A					2					60		○							
老年看護学演習1B								2		60		○							
老年看護学演習2A					2					60			○						
老年看護学演習2B								2		60			○						
老年看護学実習1								2			90		○						
老年看護学実習2								4			180				○	○			
老年看護学実習3								4			180				○	○			
在宅看護学特論					2			2	30			○							
在宅看護学援助特論1					2			2	30				○						
在宅看護学援助特論2					2			2	30				○						
在宅看護学援助特論3					2			2	30			○							
在宅看護学演習1A					2					60		○							
在宅看護学演習1B								2		60		○							
在宅看護学演習2A					2					60			○						
在宅看護学演習2B							2		60			○							
在宅看護学実習1							6			270				○	○				
在宅看護学実習2							4			180				○	○				

科目区分			授 業 科 目	修論コース					実践看護研究コース		授業時間数			学年進行						
				先進ケア科学領域		実践看護科学領域			実践看護科学領域					1年次		2年次				
				単位数		単位数			単位数		前期	後期	前期	後期						
				必修	選択	必修	選択	自由	必修	選択										
専門科目	実践看護科学	療養支援看護科学	急性看護学特論				2			2	30			○						
			急性看護学援助特論1				2			2	30			○						
			急性看護学援助特論2				2			2	30				○					
			急性看護学演習1A				2					60		○						
			急性看護学演習1B							2		60		○						
			急性看護学演習2A				2					60			○					
			急性看護学演習2B							2		60			○					
			急性看護学実習1							6			270				○	○		
			急性看護学実習2							4			180				○	○		
			慢性看護学特論1				2			2	30				○					
			慢性看護学特論2				2			2	30				○					
			慢性看護学特論3				2			2	30				○					
			慢性看護学援助特論1				2			2	30					○				
			慢性看護学援助特論2				2			2	30					○				
			慢性看護学演習1A				2						60		○					
			慢性看護学演習1B							2			60		○					
			慢性看護学演習2A				2						60			○				
			慢性看護学演習2B							2			60			○				
			慢性看護学実習A1							2				90		○				
			慢性看護学実習A2							4				180				○	○	
			慢性看護学実習B							2				90				○	○	
			慢性看護学実習C							2				90				○	○	
			がん看護学特論				2			2	30					○				
			がん看護学援助特論				2			2	30						○			
			がん緩和ケア論				2			2	30					○				
			がん薬物療法看護論				2			2	30						○			
			がん看護学演習1A				2						60		○					
			がん看護学演習1B							2			60		○					
			がん看護学演習2A				2						60			○				
			がん看護学演習2B							2			60			○				
			多職種参加型症例検討演習							1			30					○		
			模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習							1			30			○				
			がん看護学実習A							2				90			○			
			がん看護学実習B							4				180				○	○	
			がん看護学実習C							4				180				○	○	
			感染看護学特論				2			2	30					○				
			感染看護学援助特論				2			2	30						○			
			感染看護疫学論				2			2	30						○			
			臨床感染看護論				2			2	30						○			
			感染看護学演習1A				2						60		○					
			感染看護学演習1B							2			60		○					
			感染看護学演習2A				2						60			○				
			感染看護学演習2B							2			60			○				
			感染看護学実習1							6				270				○	○	
			感染看護学実習2							4				180				○	○	
			実践看護科学特別研究				8							240					○	○
			実践看護科学課題研究							4				120					○	○
	助産師資格科目	基礎助産学	助産学概論				1				15				○					
			助産学特論A(周産期病態生理)				2				30				○					
			助産学特論B(リプロダクティブヘルス)				2				30					○				
			助産学特論C(大阪課題解決論)				1				15						○			
			助産学診断・技術学																	
			助産学演習A(妊娠)				2					60			○					
			助産学演習B(分娩)				3					90			○					
			助産学演習C(産褥・新生児・乳児)				2					60			○					
			助産学演習D(継続健康教育)				2					60				○		○		
			助産学演習E(ウイメンズヘルス)				1					30				○				
			地域母子保健																	
			国際・地域母子保健				2				30							○		
			助産管理																	
			助産管理学(災害含む)				2				30							○		
			助産学実習																	
			周産期助産学実習					6						270			○			
			ハイリスク実習					1						45				○		
			継続助産学実習					2						90			○			
			地域助産学実習(集団教育)					2						90				○		

科目区分			授 業 科 目	修論コース						実践看護研究コース		授業時間数			学年進行			
				先進ケア科学領域		実践看護科学領域			実践看護科学領域		1年次				2年次			
				単位数		単位数			単位数									
				必修	選択	必修	選択	自由	必修	選択	講義	演習	実習	前期	後期	前期	後期	
先進ケア科学	ケアシステム科学	ヒューマンケアシステム研究特論		2							30			○				
		ヒューマンケアシステム研究演習1		2							60				○			
		ヒューマンケアシステム研究演習2		2							60					○		
		療養ケアシステム研究特論		2							30			○				
		療養ケアシステム研究演習1		2							60				○			
		療養ケアシステム研究演習2		2							60					○		
		子ども・家族ケア研究特論		2							30			○				
		子ども・家族ケア研究演習1		2							60				○			
		子ども・家族ケア研究演習2		2							60					○		
		地域包括ケアシステム研究特論		2							30			○				
		地域包括ケアシステム研究演習1		2							60				○			
		地域包括ケアシステム研究演習2		2							60					○		
		ヘルスプロモーションケア研究特論		2							30			○				
		ヘルスプロモーションケア研究演習1		2							60				○			
		ヘルスプロモーションケア研究演習2		2							60					○		
	生態行動ケア科学	がん包括ケア研究特論		2							30			○				
		がん包括ケア研究演習1		2							60				○			
		がん包括ケア研究演習2		2							60					○		
		高齢者生活行動ケア研究特論		2							30			○				
		高齢者生活行動ケア研究演習1		2							60				○			
		高齢者生活行動ケア研究演習2		2							60					○		
		ウィメンズヘルスケア研究特論		2							30			○				
		ウィメンズヘルスケア研究演習1		2							60				○			
		ウィメンズヘルスケア研究演習2		2							60					○		
		精神行動ケア研究特論		2							30			○				
		精神行動ケア研究演習1		2							60				○			
		精神行動ケア研究演習2		2							60					○		
		健康支援基礎科学特論		2							30			○				
		健康支援基礎科学研究演習1		2							60				○			
		健康支援基礎科学研究演習2		2							60					○		
		先進ケア科学特別研究1		4							120			○	○			
		先進ケア科学特別研究2		4							120					○	○	

25. 博士前期課程分野別履修モデル

博士前期課程 修士論文コース 実践看護科学領域 基礎看護科学分野 看護技術学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院 共通教育科目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	
		科学英語			2		
		Academic Writing			2		
		Academic Presentation			2		
		大学院キャリアデザイン演習			2		
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
		戦略的システム思考力演習1			2		
		戦略的システム思考力演習2			2		
		イノベーション創出型研究者養成			2		
		医療の品質管理A			2		
		グローバル経営特論			2		
		化学産業論			1		
		バイオデザイン			2		
		人権問題論			2		
		大学教育基礎演習			1		
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
	先進ケア科学 共通科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
		ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
	実践看護科学 科目	ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
		看護情報学特論2		○	2		
		看護教育学特論2		○	2		
	実践看護科学 科目	看護技術学特論1	○		2	推	必修8単位 選択8単位 注)2
		看護技術学特論2		○	2	推	
		看護技術学演習1	○		2	推	
		看護技術学演習2		○	2	推	
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 基礎看護科学分野 看護情報学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	
			前期	後期				
大学 院 共 通 教 育 科 目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必		
		科学英語			2			
		Academic Writing			2	推		
		Academic Presentation			2	推		
		大学院キャリアデザイン演習			2			
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1			
		戦略的システム思考力演習1			2			
		戦略的システム思考力演習2			2			
		イノベーション創出型研究者養成			2			
		医療の品質管理A			2			
		グローバル経営特論			2			
		化学産業論			1			
		バイオデザイン			2			
		人権問題論			2			
		大学教育基礎演習			1			
専門 科目	実践看護科学 科目 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1	
		看護学研究法	○		2	必		
		看護倫理学	○		2	推		
		看護政策学		○	1			
		コンサルテーション論		○	1			
		病態生理学		○	2			
		代謝病態生理学	○		2			
		がん病態学	○		2			
		臨床薬理学		○	2			
		臨床疾病治療論	○		2			
		フィジカルアセスメントA	○		2			
		フィジカルアセスメントB		○	2			
		データヘルス方法論A	○		1	推		
		データヘルス方法論B	○		1	推		
		生体感染防御論	○		2			
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2			
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1			
		補完代替療法学	○		1			
		公共政策論	○		2			
		人材管理論	○		2			
	ヘルスケア経営論		○	2				
	先進ケア 科学 共通 科目	ケア科学研究論	○		2			
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	推		
		ケア科学英語論文作成法	○		2			
		ケアデータマネジメント		○	2			
		ケア組織マネジメント論	○		2			
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2			
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2			
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2			
		看護学基礎	○		2			
		看護学基礎演習		○	2			
	実践看護科学 科目	看護情報学特論1	○		2	推	必修8単位 選択8単位 注)2	
		看護情報学特論2		○	2	推		
		看護情報学演習1	○		2	推		
		看護情報学演習2		○	2	推		
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必		

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 基礎看護科学分野 看護管理学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院共通教育科目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	
		科学英語			2		
		Academic Writing			2		
		Academic Presentation			2		
		大学院キャリアデザイン演習			2		
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
		戦略的システム思考力演習1			2		
		戦略的システム思考力演習2			2		
		イノベーション創出型研究者養成			2		
		医療の品質管理A			2	推	
		グローバル経営特論			2		
		化学産業論			1		
		バイオデザイン			2		
		人権問題論			2		
		大学教育基礎演習			1		
専門科目	実践看護科学 専門基礎科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1	推	
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
	公共政策論	○		2			
	人材管理論	○		2	推		
	ヘルスケア経営論		○	2	推		
	先進ケア科学 共通科目	ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
		ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
	実践看護科学 科学科目	看護情報学特論1	○		2		
		看護情報学特論2		○	2	推	
看護教育学特論2			○	2			
地域看護学特論		○		2			
地域看護学援助特論			○	2			
看護管理学特論1		○		2	推		
看護管理学特論2			○	2	推		
看護管理学演習1		○		2	推		
看護管理学演習2			○	2	推		
実践看護科学特別研究	○	○	8	必			

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護学研究コース
実践看護科学領域 基礎看護科学分野 看護管理学(看護管理実践者)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分			授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
				前期	後期			
大学院 共通教育科目	研究公正A			大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照	1	必		
	科学英語				2			
	Academic Writing				2			
	Academic Presentation				2			
	大学院キャリアデザイン演習				2			
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1			
	戦略的システム思考力演習1				2			
	戦略的システム思考力演習2				2			
	イノベーション創出型研究者養成				2			
	医療の品質管理A				2	推		
	グローバル経営特論				2			
	化学産業論				1			
	バイオデザイン				2			
	人権問題論				2			
	大学教育基礎演習				1			
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1	
		看護学研究法	○		2	必		
		看護倫理学	○		2	推		
		看護政策学		○	1	推		
		コンサルテーション論		○	1			
		病態生理学		○	2			
		代謝病態生理学	○		2			
		がん病態学	○		2			
		臨床薬理学		○	2			
		臨床疾病治療論	○		2			
		フィジカルアセスメントA	○		2			
		フィジカルアセスメントB		○	2			
		データヘルス方法論A	○		1	推		
		データヘルス方法論B	○		1	推		
		生体感染防御論	○		2			
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2			
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1			
		補完代替療法学	○		1			
		公共政策論	○		2	推		
		人材管理論	○		2	推		
		ヘルスケア経営論		○	2	推		
	実践看護科学 科目	看護情報学特論1	○		2		必修4単位 選択8単位 注)2 注)3	
		看護情報学特論2		○	2	推		
		看護教育学特論2		○	2	推		
		地域看護学特論	○		2			
		地域看護学援助特論		○	2			
		看護管理学特論1	○		2	推		
		看護管理学特論2		○	2	推		
		看護管理学演習1	○		2	推		
		看護管理学演習2		○	2	推		
	マネジメント実践フィールドワーク	○	○	4	推			
	実践看護科学課題研究	○	○	4	必			

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 基礎看護科学分野 看護教育学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	
			前期	後期				
大学 院 共 通 教 育 科 目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必		
		科学英語			2			
		Academic Writing			2			
		Academic Presentation			2			
		大学院キャリアデザイン演習			2			
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1	推		
		戦略的システム思考力演習1			2			
		戦略的システム思考力演習2			2			
		イノベーション創出型研究者養成			2			
		医療の品質管理A			2			
		グローバル経営特論			2			
		化学産業論			1			
		バイオデザイン			2			
		人権問題論			2			
		大学教育基礎演習			1			
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1	
		看護学研究法	○		2	必		
		看護倫理学	○		2	推		
		看護政策学		○	1			
		コンサルテーション論		○	1			
		病態生理学		○	2			
		代謝病態生理学	○		2			
		がん病態学	○		2			
		臨床薬理学		○	2			
		臨床疾病治療論	○		2			
		フィジカルアセスメントA	○		2			
		フィジカルアセスメントB		○	2			
		データヘルス方法論A	○		1			
		データヘルス方法論B	○		1			
		生体感染防御論	○		2			
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2			
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1			
		補完代替療法学	○		1			
		公共政策論	○		2			
		人材管理論	○		2			
		ヘルスケア経営論		○	2			
	先進ケア科学 共通科目	ケア科学研究論	○		2			
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2			
		ケア科学英語論文作成法	○		2			
		ケアデータマネジメント		○	2			
		ケア組織マネジメント論	○		2			
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2			
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2			
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2			
		看護学基礎	○		2			
		看護学基礎演習		○	2			
	実践看護科学 科目	看護管理学特論1	○		2	推	必修8単位 選択8単位 注)2	
		看護教育学特論1	○		2	推		
		看護教育学特論2		○	2	推		
		看護教育学演習1A	○		2	推		
		看護教育学演習2A		○	2	推		
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必		

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護学コース
実践看護科学領域 基礎看護科学分野 看護教育学(看護教育者)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目		開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院 共通教育科目	研究公正A				1	必	
	科学英語				2		
	Academic Writing				2		
	Academic Presentation				2		
	大学院キャリアデザイン演習				2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1	推	
	戦略的システム思考力演習1				2		
	戦略的システム思考力演習2				2		
	イノベーション創出型研究者養成				2		
	医療の品質管理A				2		
	グローバル経営特論				2		
	化学産業論				1		
	バイオデザイン				2		
	人権問題論				2		
	大学教育基礎演習				1		
専門科目	実践看護科学 基礎科目 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1		
		データヘルス方法論B	○		1		
		生体感染防御論	○		2		
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
	実践看護科学 科目	看護管理学特論1	○		2	推	必修4単位 選択8単位 注)2 注)3
		看護教育学特論1	○		2	推	
		看護教育学特論2		○	2	推	
		看護教育学演習1B	○		2	推	
		看護教育学演習2B		○	2	推	
		看護教育学実習1		○	2	推	
		看護教育学実習2	○		2	推	
		実践看護科学課題研究	○	○	4	必	

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から)

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 家族支援看護科学分野 家族看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目		開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院共通教育科目	研究公正A				1	必	
	科学英語				2		
	Academic Writing				2		
	Academic Presentation				2		
	大学院キャリアデザイン演習				2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1		
	戦略的システム思考力演習1				2		
	戦略的システム思考力演習2				2		
	イノベーション創出型研究者養成				2		
	医療の品質管理A				2		
	グローバル経営特論				2		
	化学産業論				1		
	バイオデザイン				2		
	人権問題論				2		
	大学教育基礎演習				1		
専門科目	実践看護科学 専門基礎科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
	先進ケア科学 共通科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
		ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
	実践看護科学 専門科目	ケア組織マネジメント論	○		2		必修8単位 選択8単位 注)2
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
		看護管理学特論1	○		2	推	
		看護教育学特論2		○	2	推	
		家族看護学	○		2	推	
		家族看護学特論	○		2	推	
	実践看護科学 専門科目	家族看護学援助特論1		○	2		
		家族看護学援助特論2		○	2		
		家族看護学援助特論3		○	2		
		家族看護学演習1A	○		2	推	
		家族看護学演習2A		○	2	推	
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 家族支援看護科学分野 家族看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨 科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学 院 共 通 教 育 科 目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専 門 科 目	実践看護科学 基礎科目 共通科目	理論看護学	○		2	必		2		必
		看護学研究法	○		2	必		2		必
		看護倫理学	○		2	推		2		必
		看護政策学		○	1	推		1		必
		コンサルテーション論		○	1	推		1		必
		病態生理学		○	2	推		2		必
		代謝病態生理学	○		2					
		がん病態学	○		2					
		臨床薬理学		○	2	推		2		必
		臨床疾病治療論	○		2					
		フィジカルアセスメントA	○		2	推		2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2					
		データヘルス方法論A	○		1					
		データヘルス方法論B	○		1					
		生体感染防御論	○		2					
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2					
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1					
		新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○		2					
		新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2					
		補完代替療法学	○		1					
		公共政策論	○		2					
		人材管理論	○		2					
		ヘルスケア経営論		○	2					
	実践看護科学 科目	看護管理学特論1	○		2	推		2		推
		看護教育学特論2		○	2	推		2		推
		家族看護学特論	○		2	推			2	必
		家族看護学援助特論1		○	2	推			2	必
		家族看護学援助特論2		○	2	推			2	必
		家族看護学援助特論3		○	2	推			2	必
		家族看護学	○		2	推			2	必
		家族看護学演習1B	○		2	推			2	必
		家族看護学演習2B		○	2	推			2	必
		家族看護学実習1		○	2	推			2	必
		家族看護学実習2	○	○	6	推			6	必
		家族看護学実習3	○	○	2	推			2	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4	必				

注1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 家族支援看護科学分野 小児看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院 共通教育科目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	
		科学英語			2		
		Academic Writing			2		
		Academic Presentation			2		
		大学院キャリアデザイン演習			2		
		大学院キャリア形成論―学問・大学と社会			1		
		戦略的システム思考力演習1			2		
		戦略的システム思考力演習2			2		
		イノベーション創出型研究者養成			2		
		医療の品質管理A			2		
		グローバル経営特論			2		
		化学産業論			1		
		バイオデザイン			2		
		人権問題論			2		
		大学教育基礎演習			1		
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
	先進ケア 科学共通科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
		ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
	実践看護科学 専門科目	ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
		ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
		看護管理学特論1	○		2	推	
		看護教育学特論1	○		2	推	
母性看護学特論	○		2	推			
小児看護学援助特論1	○		2	推			
小児看護学援助特論2		○	2	推			
小児看護学援助特論3	○		2	推			
家族看護学	○		2				
小児看護学特論	○		2	推			
小児看護学援助特論4	○		2	推			
小児看護学演習1A	○		2	推			
小児看護学演習2A		○	2	推			
実践看護科学特別研究	○	○	8	必			

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論 科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から)

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 家族支援看護科学分野 小児看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院 共通教育科目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必				必
		看護学研究法	○		2	必	2			必
		看護倫理学	○		2	推	2			必
		看護政策学		○	1	推	1			必
		コンサルテーション論		○	1	推	1			必
		病態生理学		○	2	推		2		必
		代謝病態生理学	○		2					
		がん病態学	○		2					
		臨床薬理学		○	2	推		2		必
		臨床疾病治療論	○		2					
		フィジカルアセスメントA	○		2	推		2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2					
		データヘルス方法論A	○		1	推	1			推
		データヘルス方法論B	○		1					
		生体感染防御論	○		2					
	実践看護科学 専門科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2					
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1					
		新「共通特論1」: 臨床腫瘍学総論	○		2					
		新「共通特論2」: 臨床腫瘍学各論		○	2					
		補完代替療法学	○		1					
		公共政策論	○		2					
		人材管理論	○		2					
		ヘルスケア経営論		○	2					
		看護管理学特論1	○		2	推	2			推
		看護教育学特論2		○	2	推	2			推
		小児看護学特論	○		2	推			2	必
		小児看護学援助特論1	○		2	推			2	必
		小児看護学援助特論2		○	2	推			2	必
		小児看護学援助特論3	○		2	推			2	必
		小児看護学援助特論4	○		2	推			2	必
		家族看護学	○		2				2	
		小児看護学演習1B	○		2	推			2	必
		小児看護学演習2B		○	2	推			2	必
		小児看護学実習1	○	○	2	推			2	必
		小児看護学実習2	○	○	3	推			3	必
		小児看護学実習3	○	○	5	推			5	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4	必				

注1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から)

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 家族支援看護科学分野 母性看護・助産学履修モデル(助産師資格取得プログラム)

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
		前期	後期			
大学院 共通教育科目	研究公正A			1	必	
	科学英語			2		
	Academic Writing			2	推	
	Academic Presentation			2		
	大学院キャリアデザイン演習			2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
	戦略的システム思考力演習1			2		
	戦略的システム思考力演習2			2		
	イノベーション創出型研究者養成			2		
	医療の品質管理A			2		
	グローバル経営特論			2		
	化学産業論			1		
	バイオデザイン			2		
	人権問題論			2		
	大学教育基礎演習			1		
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○	2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○	2	必	
		看護倫理学	○	2		
		看護政策学		○	1	推
		コンサルテーション論		○	1	
		病態生理学		○	2	
		代謝病態生理学	○		2	
		がん病態学	○		2	
		臨床薬理学		○	2	
		臨床疾病治療論	○		2	
		フィジカルアセスメントA	○		2	
		フィジカルアセスメントB		○	2	
		データヘルス方法論A	○		1	推
		データヘルス方法論B	○		1	推
	先進 ケア 科学 共通科目	生体感染防御論	○		2	
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2	
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1	
		補完代替療法学	○		1	(必)注)3
		公共政策論	○		2	
		人材管理論	○		2	
		ヘルスケア経営論		○	2	推
		ケア科学研究論	○		2	
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	
		ケア科学英語論文作成法	○		2	
	実践看護科学 科目	ケアデータマネジメント		○	2	
		ケア組織マネジメント論	○		2	
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	
		看護学基礎	○		2	
		看護学基礎演習		○	2	
		看護情報学特論1	○		2	
		看護情報学特論2		○	2	推
		看護教育学特論2		○	2	
	助産師 資格科目	母性看護学特論	○		2	推
		母性看護学援助特論		○	2	推
		母性看護学演習1	○		2	推
		母性看護学演習2		○	2	推
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必
		助産学概論	○		1	(必)注)3
		助産学特論A(周産期病態生理)	○		2	(必)注)3
		助産学特論B(リプロダクティブヘルス)		○	2	(必)注)3
		助産学特論C(大阪課題解決論)	○		1	(必)注)3
		助産学演習A(妊娠)	○		2	(必)注)3
		助産学演習B(分娩)	○		3	(必)注)3
		助産学演習C(産褥・新生児・乳児)	○		2	(必)注)3
		助産学演習D(継続健康教育)	○	○	2	(必)注)3
		助産学演習E(ウィメンズヘルス)		○	1	(必)注)3
		国際・地域母子保健	○		2	(必)注)3
		助産管理学(災害含む)	○		2	(必)注)3
		周産期助産学実習		○	6	(必)注)3
		ハイリスク実習	○		1	(必)注)3
		継続助産学実習		○	2	(必)注)3
		地域助産学実習(集団教育)	○		2	(必)注)3

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注)3 助産師科目履修者は助産師資格科目および補完代替療法学を必修とする

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 地域看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
		前期	後期			
大学院共通教育科目	研究公正A			1	必	
	科学英語			2		
	Academic Writing			2		
	Academic Presentation			2		
	大学院キャリアデザイン演習			2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
	戦略的システム思考力演習1			2		
	戦略的システム思考力演習2			2		
	イノベーション創出型研究者養成			2		
	医療の品質管理A			2		
	グローバル経営特論			2		
	化学産業論			1		
	バイオデザイン			2		
	人権問題論			2		
	大学教育基礎演習			1		
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○	2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○	2	必	
		看護倫理学	○	2	推	
		看護政策学		○	1	推
		コンサルテーション論		○	1	
		病態生理学		○	2	
		代謝病態生理学	○		2	
		がん病態学	○		2	
		臨床薬理学		○	2	
		臨床疾病治療論	○		2	
		フィジカルアセスメントA	○		2	
		フィジカルアセスメントB		○	2	
		データヘルス方法論A	○		1	推
		データヘルス方法論B	○		1	推
	先進ケア科学 共通科目	生体感染防御論	○		2	
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2	
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1	
		補完代替療法学	○		1	
		公共政策論	○		2	推
		人材管理論	○		2	
		ヘルスケア経営論		○	2	
		ケア科学研究論	○		2	
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	
		ケア科学英語論文作成法	○		2	
	実践看護科学 科目	ケアデータマネジメント		○	2	
		ケア組織マネジメント論	○		2	
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	
		看護学基礎	○		2	
		看護学基礎演習		○	2	
		看護情報学特論1	○		2	推
		看護情報学特論2		○	2	
		看護管理学特論1	○		2	推
		看護管理学特論2		○	2	
		地域看護学特論	○		2	推
		地域看護学援助特論		○	2	推
		地域看護学演習1	○		2	推
		地域看護学演習2		○	2	推
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から)

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 精神看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目		開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院 共通教育科目	研究公正A				1	必	
	科学英語				2		
	Academic Writing				2		
	Academic Presentation				2		
	大学院キャリアデザイン演習				2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1		
	戦略的システム思考力演習1				2		
	戦略的システム思考力演習2				2		
	イノベーション創出型研究者養成				2		
	医療の品質管理A				2		
	グローバル経営特論				2		
	化学産業論				1		
	バイオデザイン				2		
	人権問題論				2		
	大学教育基礎演習				1		
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2		
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
	先進ケア科学 共通科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2		必修8単位 選択8単位 注)2
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
		ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
	実践看護科学 科目	ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
		看護教育学特論2		○	2	推	
		地域看護学特論	○		2	推	
		精神看護学特論	○		2	推	
		精神看護学援助特論1	○		2	推	
		精神看護学援助特論2		○	2	推	
		精神看護学援助特論3		○	2	推	
		精神看護学援助特論4		○	2	推	
		精神看護学援助特論5		○	2	推	
		精神看護学援助特論6		○	2	推	
		精神看護学援助特論7		○	2	推	
		精神看護学演習1A	○		2	必	
		精神看護学演習2A		○	2	必	
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 精神看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院共通教育科目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	実践看護科学 専門基礎科目 共通科目	理論看護学	○	2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1	2			必
		看護学研究法	○	2	必		2			必
		看護倫理学	○	2	推		2			必
		看護政策学		○	1		1			必
		コンサルテーション論		○	1		1			必
		病態生理学		○	2			2		必
		代謝病態生理学	○	2						
		がん病態学	○	2						
		臨床薬理学		○	2			2		必
		臨床疾病治療論	○	2						
		フィジカルアセスメントA	○	2	推			2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2					
		データヘルス方法論A	○	1						
		データヘルス方法論B	○	1						
		生体感染防御論	○	2						
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2					
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1					
		新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○	2						
		新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2					
	実践看護科学 専門科目	補完代替療法学	○	1		必修4単位 選択8単位 注)2 注)3	2			推
		公共政策論	○	2			2			推
		人材管理論	○	2						
		ヘルスケア経営論		○	2					
		看護管理学特論1	○	2						
		看護教育学特論2		○	2					
		精神看護学特論	○	2	推				2	必
		精神看護学援助特論1	○	2	推				2	必
		精神看護学援助特論2		○	2				2	必
		精神看護学援助特論3		○	2				2	必
		精神看護学援助特論4		○	2				2	必注)4
		精神看護学援助特論5		○	2				2	必注)4
		精神看護学援助特論6		○	2				2	必注)4
		精神看護学援助特論7		○	2				2	必注)4
		精神看護学演習1B	○	2	推				2	必
		精神看護学演習2B		○	2				2	必
		精神看護学実習1		○	2				2	必
		精神看護学実習2	○	○	2				2	必
		精神看護学実習3	○	○	2				2	必
		精神看護学実習4	○	○	2				2	必
		精神看護学実習5	○	○	2				2	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4					

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

注)4 精神看護学援助特論4～7のうち1科目以上選択することが必要

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 老年看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
		前期	後期			
大学院 共通教育科目	研究公正A			1	必	
	科学英語			2		
	Academic Writing			2		
	Academic Presentation			2		
	大学院キャリアデザイン演習			2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
	戦略的システム思考力演習1			2		
	戦略的システム思考力演習2			2		
	イノベーション創出型研究者養成			2		
	医療の品質管理A			2		
	グローバル経営特論			2		
	化学産業論			1		
	バイオデザイン			2		
	人権問題論			2		
	大学教育基礎演習			1		
専門 科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○	2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○	2	必	
		看護倫理学	○	2	推	
		看護政策学		○	1	
		コンサルテーション論		○	1	
		病態生理学		○	2	
		代謝病態生理学	○		2	
		がん病態学	○		2	
		臨床薬理学		○	2	
		臨床疾病治療論	○		2	
		フィジカルアセスメントA	○		2	
		フィジカルアセスメントB		○	2	
	専門基礎科目	データヘルス方法論A	○		1	推
		データヘルス方法論B	○		1	推
		生体感染防御論	○		2	
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2	
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1	
		補完代替療法学	○		1	
		公共政策論	○		2	
		人材管理論	○		2	
		ヘルスケア経営論		○	2	
	先進ケア科学 共通科目	ケア科学研究論	○		2	
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	
		ケア科学英語論文作成法	○		2	
		ケアデータマネジメント		○	2	
		ケア組織マネジメント論	○		2	
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	
		看護学基礎	○		2	
		看護学基礎演習		○	2	
実践看護科学 科目	看護教育学特論2		○	2	推	必修8単位 選択8単位 注)2
	在宅看護学特論	○		2	推	
	老年看護学特論	○		2	推	
	老年看護学援助特論1	○		2		
	老年看護学援助特論2		○	2	推	
	老年看護学援助特論3		○	2	推	
	老年看護学演習1A	○		2	推	
	老年看護学演習2A		○	2	推	
	実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 老年看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院共通教育科目	研究公正A			1	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1				
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	実践看護科学 基礎科目 共通科目	理論看護学	○		2	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1	2			必
		看護学研究法	○		2		2			必
		看護倫理学	○		2		2			必
		看護政策学		○	1		1			必
		コンサルテーション論		○	1		1			必
		病態生理学		○	2			2		必
		代謝病態生理学	○		2					
		がん病態学	○		2					
		臨床薬理学		○	2			2		必
		臨床疾病治療論	○		2				2	必
		フィジカルアセスメントA	○		2			2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2					
		データヘルス方法論A	○		1					
		データヘルス方法論B	○		1					
		生体感染防御論	○		2					
	実践看護科学 科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2	必修4単位 選択8単位 注)2 注)3				
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1					
		新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○		2					
		新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2					
		補完代替療法学	○		1					
		公共政策論	○		2					
		人材管理論	○		2					
		ヘルスケア経営論		○	2					
		看護管理学特論1	○		2		2			推
		看護教育学特論2		○	2		2			
		老年看護学特論	○		2				2	必
		老年看護学援助特論1	○		2				2	必
		老年看護学援助特論2		○	2				2	必
		老年看護学援助特論3		○	2				2	必
		老年看護学演習1B	○		2				2	必
		老年看護学演習2B		○	2				2	必
		老年看護学実習1		○	2				2	必
		老年看護学実習2	○	○	4				4	必
		老年看護学実習3	○	○	4				4	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4					

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 在宅看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
		前期	後期			
大学院共通教育科目	研究公正A			1	必	
	科学英語			2		
	Academic Writing			2		
	Academic Presentation			2		
	大学院キャリアデザイン演習			2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
	戦略的システム思考力演習1			2		
	戦略的システム思考力演習2			2		
	イノベーション創出型研究者養成			2		
	医療の品質管理A			2		
	グローバル経営特論			2		
	化学産業論			1		
	バイオデザイン			2		
	人権問題論			2		
	大学教育基礎演習			1		
専門基礎科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
	看護学研究法	○		2	必	
	看護倫理学	○		2	推	
	看護政策学		○	1		
	コンサルテーション論		○	1		
	病態生理学		○	2		
	代謝病態生理学	○		2		
	がん病態学	○		2		
	臨床薬理学		○	2		
	臨床疾病治療論	○		2		
	フィジカルアセスメントA	○		2		
	フィジカルアセスメントB		○	2		
	データヘルス方法論A	○		1		
	データヘルス方法論B	○		1		
	生体感染防御論	○		2		
	異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
	異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
	補完代替療法学	○		1		
	公共政策論	○		2		
	人材管理論	○		2		
	ヘルスケア経営論		○	2		
	ケア科学研究論	○		2		
	研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
	ケア科学英語論文作成法	○		2		
	ケアデータマネジメント		○	2		
	ケア組織マネジメント論	○		2		
	ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
	ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
	ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
	看護学基礎	○		2		
	看護学基礎演習		○	2		
実践看護科学科目	看護管理学特論1	○		2	推	必修8単位 選択8単位 注)2
	看護教育学特論2		○	2	推	
	家族看護学	○		2	推	
	在宅看護学特論	○		2	推	
	在宅看護学援助特論1		○	2	推	
	在宅看護学援助特論2		○	2	推	
	在宅看護学援助特論3	○		2	推	
	在宅看護学演習1A	○		2	推	
	在宅看護学演習2A		○	2	推	
	実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 生活支援看護科学分野 在宅看護(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨 科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学 院 共 通 教 育 科 目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目	実 践 看 護 科 学 共 通 科 目	理論看護学	○		2	必			必
			看護学研究法	○		2	必			必
			看護倫理学	○		2	推			必
			看護政策学		○	1	推			必
			コンサルテーション論		○	1	推			必
			病態生理学		○	2	推		2	必
			代謝病態生理学	○		2				
			がん病態学	○		2				
			臨床薬理学		○	2	推		2	必
			臨床疾病治療論	○		2	推			必
			フィジカルアセスメントA	○		2	推		2	必
			フィジカルアセスメントB		○	2				
			データヘルス方法論A	○		1				
			データヘルス方法論B	○		1				
	実 践 看 護 科 学 科 目	実 践 看 護 科 学 科 目	生体感染防御論	○		2				
			異文化看護フィールドワークA	○	○	2				
			異文化看護フィールドワークB	○	○	1				
			新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○		2				
			新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2				
			補完代替療法学	○		1				
			公共政策論	○		2				
			人材管理論	○		2				
			ヘルスケア経営論		○	2				
			看護管理学特論1	○		2	推			推
			看護教育学特論2		○	2	推			推
			在宅看護学特論	○		2	推		2	必
			在宅看護学援助特論1		○	2	推		2	必
			在宅看護学援助特論2		○	2	推		2	必
			在宅看護学援助特論3	○		2	推		2	必
			在宅看護学演習1B	○		2	推		2	必
			在宅看護学演習2B		○	2	推		2	必
			在宅看護学実習1	○	○	6	推		6	必
			在宅看護学実習2	○	○	4	推		4	必
			実践看護科学課題研究	○	○	4	必			

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から)

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 療養支援看護科学分野 急性看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学 院 共 通 教 育 科 目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	
		科学英語			2		
		Academic Writing			2		
		Academic Presentation			2		
		大学院キャリアデザイン演習			2		
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
		戦略的システム思考力演習1			2		
		戦略的システム思考力演習2			2		
		イノベーション創出型研究者養成			2		
		医療の品質管理A			2		
		グローバル経営特論			2		
		化学産業論			1		
		バイオデザイン			2		
		人権問題論			2		
		大学教育基礎演習			1		
専 門 科 目	実 践 看 護 科 学 共 通 科 目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2	推	
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
	ヘルスケア経営論		○	2			
	先 進 ケ ア 科 学 共 通 科 目	ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
		ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
		急性看護学特論	○		2	推	必修8単位 選択8単位 注)2
		急性看護学援助特論1	○		2	推	
		急性看護学援助特論2		○	2	推	
		急性看護学演習1A	○		2	推	
		急性看護学演習2A		○	2	推	
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 療養支援看護科学分野 急性看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院 共通教育科目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必				必
		看護学研究法	○		2	必	2			必
		看護倫理学	○		2	推	2			必
		看護政策学		○	1	推	1			必
		コンサルテーション論		○	1	推	1			必
		病態生理学		○	2	推		2		必
		代謝病態生理学	○		2	推			2	必
		がん病態学	○		2					
		臨床薬理学		○	2	推		2		必
		臨床疾病治療論	○		2					
		フィジカルアセスメントA	○		2	推		2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2	推			2	必
		データヘルス方法論A	○		1					
		データヘルス方法論B	○		1					
		生体感染防御論	○		2					
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2					
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1					
		新「共通特論1」: 臨床腫瘍学総論	○		2					
		新「共通特論2」: 臨床腫瘍学各論		○	2					
		補完代替療法学	○		1					
		公共政策論	○		2					
		人材管理論	○		2					
		ヘルスケア経営論		○	2					
	実践看護科学 科目	看護管理学特論1	○		2	推	2			推
		看護教育学特論2		○	2	推	2			推
		急性看護学特論	○		2	推			2	必
		急性看護学援助特論1	○		2	推			2	必
		急性看護学援助特論2		○	2	推			2	必
		家族看護学	○		2	推			1	推
		急性看護学演習1B	○		2	推			2	必
		急性看護学演習2B		○	2	推			2	必
		急性看護学実習1	○	○	6	推			6	必
		急性看護学実習2	○	○	4	推			4	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4	必				

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 療養支援看護学分野 慢性看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大 学 院 共 通 教 育 科 目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	
		科学英語			2		
		Academic Writing			2		
		Academic Presentation			2		
		大学院キャリアデザイン演習			2		
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1		
		戦略的システム思考力演習1			2		
		戦略的システム思考力演習2			2		
		イノベーション創出型研究者養成			2		
		医療の品質管理A			2		
		グローバル経営特論			2		
		化学産業論			1		
		バイオデザイン			2		
		人権問題論			2		
	大学教育基礎演習		1				
専 門 科 目	実 践 看 護 科 学 共 通 科 目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1		
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2		
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2		
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1	推	
		データヘルス方法論B	○		1	推	
		生体感染防御論	○		2		
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2	推	
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
	先 進 ケ ア 科 学 共 通 科 目	ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
		ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
		看護学基礎	○		2		
		看護学基礎演習		○	2		
	実 践 看 護 科 学 科 目	看護管理学特論1	○		2		必修8単位 選択8単位 注)2
		看護教育学特論2		○	2	推	
		家族看護学	○		2		
		慢性看護学特論1	○		2	推	
		慢性看護学援助特論1		○	2	推	
		慢性看護学演習1A	○		2	推	
		慢性看護学演習2A		○	2	推	
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 療養支援看護学分野 慢性疾患看護(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院共通教育科目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1	2			必
	看護学研究法	○		2	必		2			必
	看護倫理学	○		2	推		2			必
	看護政策学		○	1	推		1			必
	コンサルテーション論		○	1	推		1			必
	病態生理学		○	2	推			2		必
	代謝病態生理学	○		2						
	がん病態学	○		2						
	臨床薬理学		○	2	推			2		必
	臨床疾病治療論	○		2						
	フィジカルアセスメントA	○		2	推			2		必
	フィジカルアセスメントB		○	2						
	データヘルス方法論A	○		1						
	データヘルス方法論B	○		1						
実践看護科学科目	生体感染防御論	○		2		必修4単位 選択8単位 注)2 注)3				
	異文化看護フィールドワークA	○	○	2						
	異文化看護フィールドワークB	○	○	1						
	新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○		2						
	新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2						
	補完代替療法学	○		1						
	公共政策論	○		2						
	人材管理論	○		2						
	ヘルスケア経営論		○	2						
	看護管理学特論1	○		2	推		2			推
	看護教育学特論2		○	2			2			
	慢性看護学特論1	○		2	推				2	必
	慢性看護学特論2	○		2	推				2	必
	慢性看護学特論3	○		2	推				2	必
	慢性看護学援助特論1		○	2	推				2	必
	慢性看護学援助特論2		○	2	推				2	必
	家族看護学	○		2						
	慢性看護学演習1B	○		2	推				2	必
	慢性看護学演習2B		○	2	推				2	必
	慢性看護学実習A1		○	2	推				2	必
	慢性看護学実習A2	○	○	4	推				4	必
	慢性看護学実習B	○	○	2	推				2	必
	慢性看護学実習C	○	○	2	推				2	必
	実践看護科学課題研究	○	○	4	必					

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 療養支援看護科学分野 がん看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目		開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)
			前期	後期			
大学院 共通教育 科目	研究公正A				1	必	
	科学英語				2		
	Academic Writing				2		
	Academic Presentation				2		
	大学院キャリアデザイン演習				2		
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1		
	戦略的システム思考力演習1				2		
	戦略的システム思考力演習2				2		
	イノベーション創出型研究者養成				2		
	医療の品質管理A				2		
	グローバル経営特論				2		
	化学産業論				1		
	バイオデザイン				2		
	人権問題論				2		
	大学教育基礎演習				1		
専門 科目	実践 看護 科学 共通 科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1
		看護学研究法	○		2	必	
		看護倫理学	○		2	推	
		看護政策学		○	1	推	
		コンサルテーション論		○	1		
		病態生理学		○	2		
		代謝病態生理学	○		2		
		がん病態学	○		2	推	
		臨床薬理学		○	2		
		臨床疾病治療論	○		2		
		フィジカルアセスメントA	○		2	推	
		フィジカルアセスメントB		○	2		
		データヘルス方法論A	○		1		
		データヘルス方法論B	○		1		
		生体感染防御論	○		2		
	専門 基礎 科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2		
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1		
		補完代替療法学	○		1		
		公共政策論	○		2		
		人材管理論	○		2		
		ヘルスケア経営論		○	2		
	先進 ケア 科学 共通 科目	ケア科学研究論	○		2		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2		
		ケア科学英語論文作成法	○		2		
		ケアデータマネジメント		○	2		
		ケア組織マネジメント論	○		2		
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2		
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2		
	実践 看護 科学 科目	看護学基礎	○		2		必修8単位 選択8単位 注)2
		看護学基礎演習		○	2		
		看護管理学特論1	○		2	推	
		看護教育学特論2		○	2	推	
		家族看護学	○		2	推	
		がん看護学特論	○		2	推	
		がん看護学援助特論		○	2	推	
		がん緩和ケア論	○		2		
		がん薬物療法看護論		○	2		
		がん看護学演習1A	○		2	推	
		がん看護学演習2A		○	2	推	
		実践看護科学特別研究	○	○	8	必	

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 療養支援看護科学分野 がん看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨科目
		前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院共通教育科目	研究公正A			1	必					
	科学英語			2						
	Academic Writing			2						
	Academic Presentation			2						
	大学院キャリアデザイン演習			2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2						
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必				必
		看護学研究法	○		2	必	2			必
		看護倫理学	○		2	推	2			必
		看護政策学		○	1	推	1			必
		コンサルテーション論		○	1		1			
		病態生理学		○	2	推		2		必
		代謝病態生理学	○		2					
		がん病態学	○		2	推			2	必
		臨床薬理学		○	2	推		2		必
		臨床疾病治療論	○		2					
		フィジカルアセスメントA	○		2	推		2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2					
		データヘルス方法論A	○		1					
		データヘルス方法論B	○		1					
		生体感染防御論	○		2					
	実践看護科学 専門科目	異文化看護フィールドワークA	○	○	2					
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1					
		新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○		2	推				
		新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2	推				
		補完代替療法学	○		1					
		公共政策論	○		2					
		人材管理論	○		2					
		ヘルスケア経営論		○	2					
		看護管理学特論1	○		2	推	2			必
		看護教育学特論2		○	2		2			
		がん看護学特論	○		2	推			2	必
		がん看護学援助特論		○	2	推			2	必
		がん緩和ケア論	○		2	推			2	必
		がん薬物療法看護論		○	2	推			2	必
		がん看護学演習1B	○		2	推			2	必
		がん看護学演習2B		○	2	推			2	必
		多職種参加型症例検討演習	○		1	推				
		模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習	○		1	推				
		がん看護学実習A		○	2	推			2	必
		がん看護学実習B	○	○	4	推			4	必
		がん看護学実習C	○	○	4	推			4	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4	必				

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
実践看護科学領域 療養支援看護科学分野 感染看護学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	
			前期	後期				
大学院 共通教育科目		研究公正A	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必		
		科学英語			2			
		Academic Writing			2			
		Academic Presentation			2			
		大学院キャリアデザイン演習			2			
		大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1			
		戦略的システム思考力演習1			2			
		戦略的システム思考力演習2			2			
		イノベーション創出型研究者養成			2			
		医療の品質管理A			2			
		グローバル経営特論			2			
		化学産業論			1			
		バイオデザイン			2			
		人権問題論			2			
		大学教育基礎演習			1			
専 門 科 目	実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択10単位以上 注)1	
		看護学研究法	○		2	必		
		看護倫理学	○		2	推		
		看護政策学		○	1			
		コンサルテーション論		○	1			
		病態生理学		○	2			
		代謝病態生理学	○		2			
		がん病態学	○		2			
		臨床薬理学		○	2			
		臨床疾病治療論	○		2			
		フィジカルアセスメントA	○		2			
		フィジカルアセスメントB		○	2			
		データヘルス方法論A	○		1	推		
		データヘルス方法論B	○		1	推		
		生体感染防御論	○		2	推		
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2			
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1			
		補完代替療法学	○		1			
	公共政策論	○		2				
	人材管理論	○		2				
	ヘルスケア経営論		○	2				
	先進ケア科学 共通科目	ケア科学研究論	○		2			
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2			
		ケア科学英語論文作成法	○		2			
		ケアデータマネジメント		○	2			
		ケア組織マネジメント論	○		2			
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2			
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2			
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2			
		看護学基礎	○		2			
		看護学基礎演習		○	2			
	実践看護科学 科目	看護管理学特論1	○		2	推		必修8単位 選択8単位 注)2
		看護教育学特論2		○	2	推		
		感染看護学特論	○		2	推		
		感染看護学援助特論		○	2	推		
		感染看護疫学論		○	2			
臨床感染看護論			○	2				
感染看護学演習1A		○		2	推			
感染看護学演習2A			○	2	推			
	実践看護科学特別研究	○	○	8	必			

注)1 選択10単位以上(大学院共通教育科目、先進ケア科学共通科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目16単位(必修8単位(「実践看護科学特別研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から))

博士前期課程 実践看護研究コース
実践看護科学領域 療養支援看護科学分野 感染看護学(専門看護師)履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分	授業科目		開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)	CNS認定に必要な科目・単位 (38単位)			必修・推奨 科目
			前期	後期				共通科目A (8単位以上)	共通科目B (6単位)	専門科目 (24単位)	
大学院共通教育科目	研究公正A				1	必					
	科学英語				2						
	Academic Writing				2						
	Academic Presentation				2						
	大学院キャリアデザイン演習				2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1						
	戦略的システム思考力演習1	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照			2						
	戦略的システム思考力演習2				2						
	イノベーション創出型研究者養成				2						
	医療の品質管理A				2						
	グローバル経営特論				2						
	化学産業論				1						
	バイオデザイン				2						
	人権問題論				2						
	大学教育基礎演習				1						
専門科目	専門基礎科目 実践看護科学 共通科目	理論看護学	○		2	必	共通教育必修1単位 専門基礎必修4単位 選択14単位以上 注)1	2			必
		看護学研究法	○		2	必		2			必
		看護倫理学	○		2	推		2			必
		看護政策学		○	1	推		1			必
		コンサルテーション論		○	1	推		1			必
		病態生理学		○	2	推			2		必
		代謝病態生理学	○		2						
		がん病態学	○		2						
		臨床薬理学		○	2	推			2		必
		臨床疾病治療論	○		2						
		フィジカルアセスメントA	○		2	推			2		必
		フィジカルアセスメントB		○	2						
		データヘルス方法論A	○		1						
		データヘルス方法論B	○		1						
		生体感染防御論	○		2	推				2	必
		異文化看護フィールドワークA	○	○	2						
		異文化看護フィールドワークB	○	○	1						
		新「共通特論1」:臨床腫瘍学総論	○		2						
		新「共通特論2」:臨床腫瘍学各論		○	2						
		補完代替療法学	○		1						
		公共政策論	○		2						
		人材管理論	○		2						
		ヘルスケア経営論		○	2						
	実践看護科学 科目	看護管理学特論1	○		2	推	必修4単位 選択8単位 注)2 注)3	2			必
		看護教育学特論2		○	2	推		2			必
		感染看護学特論	○		2	推				2	必
		感染看護学援助特論		○	2	推				2	必
		感染看護疫学論		○	2	推				2	必
		臨床感染看護論		○	2	推				2	必
		感染看護学演習1B	○		2	推				2	必
		感染看護学演習2B		○	2	推				2	必
		感染看護学実習1	○	○	6	推				6	必
		感染看護学実習2	○	○	4	推				4	必
		実践看護科学課題研究	○	○	4	必					

注)1 選択14単位以上(大学院共通教育科目、実践看護科学共通科目または実践看護科学の特論科目から)

注)2 実践看護科学の分野科目 12単位(必修4単位(「実践看護科学課題研究」)、選択8単位(基礎看護科学科目、家族支援看護科学科目、生活支援看護科学または療養支援看護科学科目から)

注)3 実習を履修するには演習科目を履修済みでなければならない。

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 ケアシステム科学分野 療養ケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分			授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)			
				前期	後期						
大学院 共通教育 科目	研究公正A			大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照	1	必	必修1単位 選択4単位				
	科学英語				2						
	Academic Writing				2						
	Academic Presentation				2	推					
	大学院キャリアデザイン演習				2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1						
	戦略的システム思考力演習1				2	推					
	戦略的システム思考力演習2				2	推					
	イノベーション創出型研究者養成				2						
	医療の品質管理A				2						
	グローバル経営特論				2						
	化学産業論				1						
	バイオデザイン				2						
	人権問題論				2						
	大学教育基礎演習				1						
専門 科目	専門 基礎 科目	先進 ケア 科学 共通 科目	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上		
			研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必				
			ケア科学英語論文作成法	○		2	推				
			ケアデータマネジメント		○	2	推				
			ケア組織マネジメント論	○		2					
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推				
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推				
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推				
			看護学基礎	○		2					
			看護学基礎演習		○	2					
	専門 科目	ケア シス テム 科学 科目	先進 ケア 科学 科目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2			必修8単位 選択6単位	
				ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2				
				ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2				
				療養ケアシステム研究特論	○		2	推			
				療養ケアシステム研究演習1		○	2	推			
				療養ケアシステム研究演習2	○		2	推			
				子ども・家族ケア研究特論	○		2				
				子ども・家族ケア研究演習1		○	2				
				子ども・家族ケア研究演習2	○		2				
				地域包括ケアシステム研究特論	○		2				
				地域包括ケアシステム研究演習1		○	2				
				地域包括ケアシステム研究演習2	○		2				
				ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2				
				ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2				
				ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2				
				生体 行 動 ケ ア 科学 科目	がん包括ケア研究特論	○		2			
					がん包括ケア研究演習1		○	2			
					がん包括ケア研究演習2	○		2			
		高齢者生活行動ケア研究特論	○			2					
		高齢者生活行動ケア研究演習1			○	2					
		高齢者生活行動ケア研究演習2	○			2					
		ウィメンズヘルスケア研究特論	○			2					
		ウィメンズヘルスケア研究演習1			○	2					
		ウィメンズヘルスケア研究演習2	○			2					
		精神行動ケア研究特論	○			2					
		精神行動ケア研究演習1			○	2					
		精神行動ケア研究演習2	○			2					
		健康支援基礎科学特論	○			2					
		健康支援基礎科学研究演習1			○	2					
		健康支援基礎科学研究演習2	○		2						
			先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必				
			先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必				

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
 - 先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
 - 先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 ケアシステム科学分野 子ども・家族ケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)		
			前期	後期					
大学院 共通教育科目	研究公正A		大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位 選択4単位		
	科学英語				2				
	Academic Writing				2				
	Academic Presentation				2				
	大学院キャリアデザイン演習				2				
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1	推			
	戦略的システム思考力演習1				2				
	戦略的システム思考力演習2				2				
	イノベーション創出型研究者養成				2				
	医療の品質管理A				2	推			
	グローバル経営特論				2				
	化学産業論				1				
	バイオデザイン				2				
	人権問題論				2				
	大学教育基礎演習				1	推			
専門 科目	専門 基礎科目	先進 ケア 科学	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上
		共通 科目	研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必		
			ケア科学英語論文作成法	○		2	推		
			ケアデータマネジメント		○	2			
			ケア組織マネジメント論	○		2			
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推		
			看護学基礎	○		2			
			看護学基礎演習		○	2			
	先進 ケア 科学 科目	ケア シ ス テ ム 科 学 科 目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2		必修8単位 選択6単位	
			ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2			
			ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2			
			療養ケアシステム研究特論	○		2			
			療養ケアシステム研究演習1		○	2			
			療養ケアシステム研究演習2	○		2			
			子ども・家族ケア研究特論	○		2	推		
			子ども・家族ケア研究演習1		○	2	推		
			子ども・家族ケア研究演習2	○		2	推		
			地域包括ケアシステム研究特論	○		2			
			地域包括ケアシステム研究演習1		○	2			
			地域包括ケアシステム研究演習2	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2			
		生体 行 動 ケア 科学 科目	がん包括ケア研究特論	○		2			
			がん包括ケア研究演習1		○	2			
			がん包括ケア研究演習2	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究特論	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2			
			高齢者生活行動ケア研究演習2	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究特論	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習1		○	2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習2	○		2			
			精神行動ケア研究特論	○		2			
			精神行動ケア研究演習1		○	2			
			精神行動ケア研究演習2	○		2			
			健康支援基礎科学特論	○		2			
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2			
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2			
			先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必		
			先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必		

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 ケアシステム科学分野 地域包括ケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)		
			前期	後期					
大学院 共通教育科目	研究公正A		大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位 選択4単位		
	科学英語				2				
	Academic Writing				2	推			
	Academic Presentation				2	推			
	大学院キャリアデザイン演習				2				
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1				
	戦略的システム思考力演習1				2				
	戦略的システム思考力演習2				2				
	イノベーション創出型研究者養成				2				
	医療の品質管理A				2				
	グローバル経営特論				2				
	化学産業論				1				
	バイオデザイン				2				
	人権問題論				2				
	大学教育基礎演習				1				
専門科目	専門基礎科目	先進 ケア科学	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上
		共通科目	研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必		
			ケア科学英語論文作成法	○		2	推		
			ケアデータマネジメント		○	2	推		
			ケア組織マネジメント論	○		2			
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2			
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推		
			看護学基礎	○		2			
			看護学基礎演習		○	2			
	先進ケア科学科目	ケアシステム科学科目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2			
			ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2			
			ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2			
			療養ケアシステム研究特論	○		2			
			療養ケアシステム研究演習1		○	2			
			療養ケアシステム研究演習2	○		2			
			子ども・家族ケア研究特論	○		2			
			子ども・家族ケア研究演習1		○	2			
			子ども・家族ケア研究演習2	○		2			
			地域包括ケアシステム研究特論	○		2	推		
			地域包括ケアシステム研究演習1		○	2	推		
			地域包括ケアシステム研究演習2	○		2	推		
			ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2			
		ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2				
		生体行動ケア科学科目	がん包括ケア研究特論	○		2			
			がん包括ケア研究演習1		○	2			
			がん包括ケア研究演習2	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究特論	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2			
			高齢者生活行動ケア研究演習2	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究特論	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習1		○	2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習2	○		2			
			精神行動ケア研究特論	○		2			
			精神行動ケア研究演習1		○	2			
			精神行動ケア研究演習2	○		2			
			健康支援基礎科学特論	○		2			
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2			
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2			
			先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必		
			先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必		

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 ケアシステム科学分野 ヘルスプロモーションケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分			授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)		
				前期	後期					
大学 院共 通教 育科 目	研究公正A		大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照	1	必	必修1単位 選択4単位				
	科学英語			2						
	Academic Writing			2	推					
	Academic Presentation			2	推					
	大学院キャリアデザイン演習			2	推					
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会			1						
	戦略的システム思考力演習1			2						
	戦略的システム思考力演習2			2						
	イノベーション創出型研究者養成			2						
	医療の品質管理A			2						
	グローバル経営特論			2	推					
	化学産業論			1						
	バイオデザイン			2						
	人権問題論			2						
	大学教育基礎演習			1						
専門科目	専門基礎科目	先進 ケア科学 共通科目	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上		
		研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必				
		ケア科学英語論文作成法	○		2	推				
		ケアデータマネジメント		○	2	推				
		ケア組織マネジメント論	○		2					
		ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推				
		ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推				
		ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推				
		看護学基礎	○		2					
		看護学基礎演習		○	2					
	先進 ケア科学 科目	ケアシステム科学科目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2				必修8単位 選択6単位
			ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2				
			ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2				
			療養ケアシステム研究特論	○		2				
			療養ケアシステム研究演習1		○	2				
			療養ケアシステム研究演習2	○		2				
			子ども・家族ケア研究特論	○		2				
			子ども・家族ケア研究演習1		○	2				
			子ども・家族ケア研究演習2	○		2				
			地域包括ケアシステム研究特論	○		2				
			地域包括ケアシステム研究演習1		○	2				
			地域包括ケアシステム研究演習2	○		2				
			ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2	推			
			ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2	推			
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2	推			
		生体行動ケア科学科目	がん包括ケア研究特論	○		2				
			がん包括ケア研究演習1		○	2				
			がん包括ケア研究演習2	○		2				
			高齢者生活行動ケア研究特論	○		2				
			高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2				
			高齢者生活行動ケア研究演習2	○		2				
			ウィメンズヘルスケア研究特論	○		2				
			ウィメンズヘルスケア研究演習1		○	2				
			ウィメンズヘルスケア研究演習2	○		2				
			精神行動ケア研究特論	○		2				
			精神行動ケア研究演習1		○	2				
			精神行動ケア研究演習2	○		2				
			健康支援基礎科学特論	○		2				
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2				
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2				
			先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必			
			先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必			

- 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
- 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
 先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
 先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
 (ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 生体行動ケア科学分野 がん包括ケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)		
			前期	後期					
大学 院 共 通 教 育 科 目	研究公正A		大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位 選択4単位		
	科学英語				2				
	Academic Writing				2				
	Academic Presentation				2				
	大学院キャリアデザイン演習				2				
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1				
	戦略的システム思考力演習1				2				
	戦略的システム思考力演習2				2				
	イノベーション創出型研究者養成				2				
	医療の品質管理A				2	推			
	グローバル経営特論				2	推			
	化学産業論				1				
	バイオデザイン				2				
	人権問題論				2				
	大学教育基礎演習				1				
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目	先進 ケ ア 科 学	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上
		共 通 科 目	研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必		
			ケア科学英語論文作成法	○		2			
			ケアデータマネジメント		○	2			
			ケア組織マネジメント論	○		2	推		
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推		
			看護学基礎	○		2			
			看護学基礎演習		○	2			
	先 進 ケ ア 科 学 科 目	ケ ア シ ス テ ム 科 学 科 目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2			
			ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2			
			ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2			
			療養ケアシステム研究特論	○		2			
			療養ケアシステム研究演習1		○	2			
			療養ケアシステム研究演習2	○		2			
			子ども・家族ケア研究特論	○		2			
			子ども・家族ケア研究演習1		○	2			
			子ども・家族ケア研究演習2	○		2			
			地域包括ケアシステム研究特論	○		2			
			地域包括ケアシステム研究演習1		○	2			
			地域包括ケアシステム研究演習2	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2			
		生 体 行 動 ケ ア 科 学 科 目	がん包括ケア研究特論	○		2	推		
			がん包括ケア研究演習1		○	2	推		
			がん包括ケア研究演習2	○		2	推		
			高齢者生活行動ケア研究特論	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2			
			高齢者生活行動ケア研究演習2	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究特論	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習1		○	2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習2	○		2			
			精神行動ケア研究特論	○		2			
			精神行動ケア研究演習1		○	2			
			精神行動ケア研究演習2	○		2			
			健康支援基礎科学特論	○		2			
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2			
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2			
				先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必	
				先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必	

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

先進ケア科学領域 生体行動ケア科学分野 高齢者生活行動ケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分			授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)			
				前期	後期						
大学院 共通教育科目	研究公正A			大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位 選択4単位			
	科学英語					2					
	Academic Writing					2					
	Academic Presentation					2					
	大学院キャリアデザイン演習					2					
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会					1					
	戦略的システム思考力演習1					2					
	戦略的システム思考力演習2					2					
	イノベーション創出型研究者養成					2					
	医療の品質管理A					2	推				
	グローバル経営特論					2					
	化学産業論					1					
	バイオデザイン					2					
	人権問題論					2	推				
	大学教育基礎演習					1					
専門科目	専門基礎科目	先進 ケア 科学 共通 科目	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上		
			研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必				
			ケア科学英語論文作成法	○		2	推				
			ケアデータマネジメント		○	2	推				
			ケア組織マネジメント論	○		2					
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推				
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推				
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2					
			看護学基礎	○		2					
			看護学基礎演習		○	2					
	専門科目	ケア シ ス テ ム 科 学 科 目		ヒューマンケアシステム研究特論	○		2			必修8単位 選択6単位	
				ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2				
				ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2				
				療養ケアシステム研究特論	○		2				
				療養ケアシステム研究演習1		○	2				
				療養ケアシステム研究演習2	○		2				
				子ども・家族ケア研究特論	○		2				
				子ども・家族ケア研究演習1		○	2				
				子ども・家族ケア研究演習2	○		2				
				地域包括ケアシステム研究特論	○		2				
				地域包括ケアシステム研究演習1		○	2				
				地域包括ケアシステム研究演習2	○		2				
				ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2				
				ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2				
				ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2				
		先進 ケア 科学 科目	生体 行 動 ケ ア 科 学 科 目		がん包括ケア研究特論	○		2			
					がん包括ケア研究演習1		○	2			
					がん包括ケア研究演習2	○		2			
					高齢者生活行動ケア研究特論	○		2			推
					高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2			推
高齢者生活行動ケア研究演習2					○		2	推			
ウィメンズヘルスケア研究特論					○		2				
ウィメンズヘルスケア研究演習1					○	2					
ウィメンズヘルスケア研究演習2	○					2					
			精神行動ケア研究特論	○		2					
			精神行動ケア研究演習1		○	2					
			精神行動ケア研究演習2	○		2					
			健康支援基礎科学特論	○		2					
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2					
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2					
			先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必				
先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必							

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」、選択6単位
(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 生体行動ケア科学分野 ウイメンズヘルスケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)		
			前期	後期					
大学 院 共 通 教 育 科 目	研究公正A		大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位 選択4単位		
	科学英語				2				
	Academic Writing				2	推			
	Academic Presentation				2	推			
	大学院キャリアデザイン演習				2				
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1				
	戦略的システム思考力演習1				2				
	戦略的システム思考力演習2				2				
	イノベーション創出型研究者養成				2				
	医療の品質管理A				2				
	グローバル経営特論				2				
	化学産業論				1				
	バイオデザイン				2				
	人権問題論				2				
	大学教育基礎演習				1				
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目	先進 ケ ア 科 学	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上
		共 通 科 目	研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必		
			ケア科学英語論文作成法	○		2	推		
			ケアデータマネジメント		○	2			
			ケア組織マネジメント論	○		2			
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推		
			看護学基礎	○		2			
			看護学基礎演習		○	2			
	先 進 ケ ア 科 学 科 目	ケ ア シ ス テ ム 科 学 科 目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2		必修8単位 選択6単位	
			ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2			
			ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2			
			療養ケアシステム研究特論	○		2			
			療養ケアシステム研究演習1		○	2			
			療養ケアシステム研究演習2	○		2			
			子ども・家族ケア研究特論	○		2			
			子ども・家族ケア研究演習1		○	2			
			子ども・家族ケア研究演習2	○		2			
			地域包括ケアシステム研究特論	○		2			
			地域包括ケアシステム研究演習1		○	2			
			地域包括ケアシステム研究演習2	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2			
		生 体 行 動 ケ ア 科 学 科 目	がん包括ケア研究特論	○		2			
			がん包括ケア研究演習1		○	2			
			がん包括ケア研究演習2	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究特論	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2			
			高齢者生活行動ケア研究演習2	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究特論	○		2	推		
			ウイメンズヘルスケア研究演習1		○	2	推		
			ウイメンズヘルスケア研究演習2	○		2	推		
			精神行動ケア研究特論	○		2			
			精神行動ケア研究演習1		○	2			
			精神行動ケア研究演習2	○		2			
			健康支援基礎科学特論	○		2			
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2			
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2			
				先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必	
				先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必	

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 生体行動ケア科学分野 精神行動ケア科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分		授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)		
			前期	後期					
大学院 共通教育科目	研究公正A		大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位 選択4単位		
	科学英語				2				
	Academic Writing				2	推			
	Academic Presentation				2				
	大学院キャリアデザイン演習				2				
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1	推			
	戦略的システム思考力演習1				2				
	戦略的システム思考力演習2				2				
	イノベーション創出型研究者養成				2				
	医療の品質管理A				2				
	グローバル経営特論				2				
	化学産業論				1				
	バイオデザイン				2				
	人権問題論				2				
	大学教育基礎演習				1	推			
専門科目	専門基礎科目	先進 ケア科学	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上
		共通科目	研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必		
			ケア科学英語論文作成法	○		2			
			ケアデータマネジメント		○	2	推		
			ケア組織マネジメント論	○		2	推		
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推		
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2			
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2	推		
			看護学基礎	○		2			
			看護学基礎演習		○	2			
	先進 ケア科学科目	ケアシステム科学科目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2		必修8単位 選択6単位	
			ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2			
			ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2			
			療養ケアシステム研究特論	○		2			
			療養ケアシステム研究演習1		○	2			
			療養ケアシステム研究演習2	○		2			
			子ども・家族ケア研究特論	○		2			
			子ども・家族ケア研究演習1		○	2			
			子ども・家族ケア研究演習2	○		2			
			地域包括ケアシステム研究特論	○		2			
			地域包括ケアシステム研究演習1		○	2			
			地域包括ケアシステム研究演習2	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2			
			ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2			
		生体行動 ケア科学科目	がん包括ケア研究特論	○		2			
			がん包括ケア研究演習1		○	2			
			がん包括ケア研究演習2	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究特論	○		2			
			高齢者生活行動ケア研究演習1		○	2			
			高齢者生活行動ケア研究演習2	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究特論	○		2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習1		○	2			
			ウイメンズヘルスケア研究演習2	○		2			
			精神行動ケア研究特論	○		2	推		
			精神行動ケア研究演習1		○	2	推		
			精神行動ケア研究演習2	○		2	推		
			健康支援基礎科学特論	○		2			
			健康支援基礎科学研究演習1		○	2			
			健康支援基礎科学研究演習2	○		2			
				先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必	
				先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必	

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
(ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

博士前期課程 修士論文コース
先進ケア科学領域 生体行動ケア科学分野 健康支援基礎科学 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

科目区分			授業科目	開講時期		単位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (31単位以上)			
				前期	後期						
大学院 共通教育科目	研究公正A			大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機構開設科目 要覧(大学院生用)を 参照	1	必	必修1単位 選択4単位				
	科学英語				2	推					
	Academic Writing				2						
	Academic Presentation				2						
	大学院キャリアデザイン演習				2						
	大学院キャリア形成論—学問・大学と社会				1						
	戦略的システム思考力演習1				2						
	戦略的システム思考力演習2				2						
	イノベーション創出型研究者養成				2						
	医療の品質管理A				2						
	グローバル経営特論				2						
	化学産業論				1						
	バイオデザイン				2						
	人権問題論				2	推					
	大学教育基礎演習				1						
専門科目	専門基礎科目	先進 ケア科学 共通科目	ケア科学研究論	○		2	必	必修4単位 選択8単位	26単位以上		
			研究倫理(医学系研究倫理)	○		2	必				
			ケア科学英語論文作成法	○		2	推				
			ケアデータマネジメント		○	2	推				
			ケア組織マネジメント論	○		2					
			ケア科学研究方法論1(調査研究デザイン)		○	2	推				
			ケア科学研究方法論2(実験研究デザイン)		○	2	推				
			ケア科学研究方法論3(質的研究デザイン)		○	2					
			看護学基礎	○		2					
			看護学基礎演習		○	2					
	専門科目	ケアシステム 科学科目	先進 ケア科学科目	ヒューマンケアシステム研究特論	○		2			必修8単位 選択6単位	
				ヒューマンケアシステム研究演習1		○	2				
				ヒューマンケアシステム研究演習2	○		2				
				療養ケアシステム研究特論	○		2				
				療養ケアシステム研究演習1		○	2				
				療養ケアシステム研究演習2	○		2				
				子ども・家族ケア研究特論	○		2				
				子ども・家族ケア研究演習1		○	2				
				子ども・家族ケア研究演習2	○		2				
				地域包括ケアシステム研究特論	○		2				
				地域包括ケアシステム研究演習1		○	2				
				地域包括ケアシステム研究演習2	○		2				
				ヘルスプロモーションケア研究特論	○		2				
				ヘルスプロモーションケア研究演習1		○	2				
				ヘルスプロモーションケア研究演習2	○		2				
				生体行動 ケア科学科目	がん包括ケア研究特論	○		2			
					がん包括ケア研究演習1		○	2			
					がん包括ケア研究演習2	○		2			
		高齢者生活行動ケア研究特論	○			2					
		高齢者生活行動ケア研究演習1			○	2					
		高齢者生活行動ケア研究演習2	○			2					
		ウィメンズヘルスケア研究特論	○			2					
		ウィメンズヘルスケア研究演習1			○	2					
		ウィメンズヘルスケア研究演習2	○			2					
		精神行動ケア研究特論	○			2					
		精神行動ケア研究演習1			○	2					
		精神行動ケア研究演習2	○			2					
		健康支援基礎科学特論	○			2	推				
		健康支援基礎科学研究演習1			○	2	推				
		健康支援基礎科学研究演習2	○		2	推					
			先進ケア科学特別研究1	○	○	4	必				
			先進ケア科学特別研究2	○	○	4	必				

1. 大学院共通教育科目 5単位(必修1単位 選択4単位)
2. 専門科目26単位以上(必修12単位 選択14単位以上)
 先進ケア科学共通科目 12単位以上 (必修4単位(「ケア科学研究論」「研究倫理(医学系研究倫理)」)、選択8単位以上)
 先進ケア科学科目 14単位(必修8単位(「先進ケア科学特別研究1」、「先進ケア科学特別研究2」)、選択6単位
 (ケアシステム科学科目または生体行動ケア科学科目から))

26. 各種資格（受験・受審資格）

本研究科実践看護科学領域では、修了要件を充足する所定の授業科目を修得することにより、専門看護師認定審査受審資格、助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員申請資格、認定看護管理者認定審査受審資格、看護師養成所の専任教員資格、を取得できます。詳細は「実践看護科学領域で取得できる資格等」を参照してください。

実践看護科学領域で取得できる資格等

取得できる資格等	修了要件以外の追加履修科目
専門看護師認定審査受審資格 がん看護、慢性疾患看護、小児看護、老人看護、精神看護、家族支援、感染症看護、急性・重症患者看護、在宅看護	日本看護系大学協議会の高度実践看護師（専門看護師）養成のための教育課程認定科目
助産師国家試験受験資格	助産師資格科目 31 単位
受胎調節実地指導員申請資格	母体保護法に基づく受胎調節実地指導員認定講習科目
認定看護管理者認定審査受審資格	実践看護研究コース/看護管理実践者において修士号の取得
看護師養成所の専任教員資格	実践看護研究コース/看護教育者において修士号の取得

（1）実践看護科学領域で取得可能な資格と教育課程

① 実践看護研究コースでは、公益社団法人日本看護協会が認定する高度実践看護師（専門看護師：がん看護、慢性疾患看護、小児看護、老人看護、精神看護、家族看護、感染症看護、急性・重症患者看護、在宅看護）の認定審査受審資格取得が可能です。取得するためには、大学院共通教育科目の必修単位 1 単位、実践看護科学共通科目の必修科目 4 単位と実習科目を含む高度実践看護師（専門看護師）養成のための教育課程認定科目から 38 単位以上、「実践看護科学課題研究」4 単位を修得する必要があります。

② 専門看護師認定審査受審に必要な共通科目

専門看護師の認定審査受審のためには日本看護系大学教育課程高度実践専門看護師課程として認定された共通科目 A、8 単位以上、共通科目 B、6 単位および分野科目 24 単位以上が必要です。以下に本学大学院の共通科目の該当科目を示します。次表の科目より共通科目 A については 8 単位以上、共通科目 B については 6 単位を修得する必要があります。

【 共通科目 A 】

基準の科目名	本学大学院の該当科目	本学の単位数	専門看護師教育 課程認定単位数
看護教育論	看護教育学特論 2	2	2
看護管理論	看護管理学特論 1	2	2
看護理論	理論看護学	2	2
看護研究	看護学研究法	2	2
コンサルテーション論	コンサルテーション論	1	1
看護倫理	看護倫理学	2	2
看護政策論	看護政策学	1	1
合 計		12	12

【 共通科目 B 】

基準の科目名	本学大学院の該当科目	本学の単位数	専門看護師教育 課程認定単位数
フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントA	2	2
病態生理学	病態生理学	2	2
臨床薬理学	臨床薬理学	2	2
合 計		6	6

③ がん医療に強い専門看護師養成コース（インテンシブ）

各専門分野の講師陣から先進的ながん医療の講義を受け、模擬患者を用いて多職種でロールプレイを行うことによって、各々の役割や個別化がん医療について探求するコースです。全ての実践看護学研究コースの院生が受講でき、専門看護師として活動する際に、様々なライフステージにあるがん患者や家族を支援し、多職種チームの一員として機能できる人材を養成することを目指します。

本学大学院の当該科目	本学の単位数
新「共通特論」1：臨床腫瘍学総論	2
新「共通特論」2：臨床腫瘍学各論	2
模擬患者による多職種参加型個別化医療課題演習	1
合 計	5

④ 助産師国家試験受験資格を取得できる教育課程（助産師資格取得プログラム）では、「実践看護科学特別研究」8 単位を含む、修了要件を充足する所定の授業科目の修得に加えて、助産師資格科目 31 単位を修得する必要があります。助産師資格取得プログラムでは、配当年次に単位の修得ができなかった場合、再履修することはできず、修士論文コースのみの履修となります。助産師資格取得プログラムでは長期履修制度は利用できません。また、助産師資格取得プログラム選択者以外は助産師資格科目を履修することはできません。

助産師国家試験受験資格と同時に受胎調節実地指導員申請資格を取得することができます。

⑤ 受胎調節実地指導員申請資格取得のための科目

「受胎調節実地指導員」の申請資格取得のためには、以下の授業科目を修得する必要があります。

＜受胎調節実地指導員申請資格取得のための授業科目と開講時期＞

開講時期	授業科目
1 年前期	助産学概論
1 年前期	助産学演習C
1 年後期	助産学特論B
1 年後期	助産学演習E
1 年後期	継続助産学実習

上記の科目の単位を修得した者には、受胎調節実地指導員認定講習を修了したことを証明する書類を修了時に発行します。各自で都道府県（知事）に指定申請を行うことで取得することができます。

⑥ 公益社団法人日本看護協会が認定する、認定看護管理者認定審査受審資格取得が可能であり、看護管理分野において、特論 4 単位、演習 4 単位、「マネジメント実践フィールドワーク」4 単位を修得する必要があります。

⑦ 看護師養成所の専任教員になるために必要な教育課程の授業科目として、看護教育学分野の教育者養成に関する科目があります。

（2）資格取得科目に必要な実習

- ・実践看護研究コースの高度実践看護者の養成では、専門看護師認定審査受審資格取得のための科目を設置し、実習 10 単位分を行う必要があります。
- ・実践看護研究コースの看護管理実践者の養成では「マネジメント実践フィールドワーク」4 単位、実践看護研究コースの看護教育者の養成では、病院施設等臨地で

4 単位分の実習を行う必要があります。

- 助産師国家試験受験資格の取得においては、実習 11 単位を修得する必要があります。
- 実習にかかる費用は全額学生負担とします。

博士後期課程

27. 博士後期課程ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

(1) ディプロマポリシー

本研究科博士後期課程では、所定の期間在学して所定の単位を修得し、以下の能力を身につけた学生に対し、博士（看護学）の学位を授与する。

- ① 看護学に関わる研究を学際的に推進できる力
保健医療福祉の課題解決や看護学の発展に向けて、学際的に研究を推進できる能力
- ② 研究成果を社会実装化する力
看護や関連領域の知識や高い倫理観に基づき、看護のエビデンスを実社会の中で、科学的に検証し、活用する能力
- ③ 社会の変革に向けてリーダーシップを発揮する力
社会の変革に向けて、保健医療福祉、教育、研究において新たな価値を創造し、施策などへ参画できる変革者としてリーダーシップを発揮できる能力
- ④ 研究成果をグローバルに発信できる能力
看護に関わる研究成果をグローバルに発信できるコミュニケーション能力

(2) カリキュラムポリシー

- ① 高い倫理観を養い、イノベーションを創出する能力を養う。
- ② 他分野のケアを融合したケア科学を追求できる。
- ③ 高度な研究能力とエビデンスを社会実装化する方法を育成する。
- ④ 看護学における知を理論的に系統づけ、実装化を志向できる。
- ⑤ 国際的視野に立ち、学術交流、研究活動に貢献でき、研究成果をグローバルに発信でき、リーダーシップを発揮できる能力を育成する。

28. 研究指導教員の決定と研究指導の方法

(1) 研究指導教員の決定

受験希望者は、受験前にあらかじめ希望する分野の研究指導教員との面談により専攻分野の教育・研究内容の説明を受け、予定している研究課題と履修計画の確認を行います。研究指導教員については、事前相談を行い、希望する研究テーマ、準備状況を確認し、教育課程並びに指導教員との適合性について確認の上、出願時に希望する分野と主研究指導教員を申告します。

研究指導教員は、専攻分野の教授（主研究指導教員）1名ならびに副指導の複数担当とし、多角的な観点から専門性を考慮し、指導を受けられるようにします。副研究指導教員の決定は学生の希望、研究テーマや研究手法を考慮し、看護学研究科委員会において決定されます。博士後期課程は「博士論文の研究指導計画」を参照してください。

① 主研究指導教員の役割

- ・学生の希望する研究課題、指導教員の専門分野、指導環境などを考慮した上で研究課題を決定し、研究指導を行います。
- ・研究指導に加え、学生の教育・研究に必要な授業科目について、シラバスと領域履修モデルを参考にして個々の学生の指導を行います。
- ・研究指導教員は、学生の希望に基づき学生ごとに1名を決定します。

② 副研究指導教員の役割

- ・主研究指導教員と協力して学生の研究指導を補助的にを行います。
- ・副研究指導教員は、上記に加え、研究指導教員の指導についての相談や調整を行います。
- ・副研究指導教員は、学生の希望に基づき学生ごとに2名以上を決定します。

(2) 研究指導計画

本研究科の研究指導計画は、次ページの「博士論文の研究指導計画」に記載の通りです。この計画に沿って学生ごとに詳細な研究指導計画を指導教員が学生とともに以下のように作成します。

- ① 学生は、決定した研究課題に関して先行研究の整理を行い、研究計画を立案します。
- ② 主研究指導教員は、学生が研究課題に関して自立して国内外の先行研究の調査・整理を行い、独自の研究計画を立案できるように指導します。
- ③ 主研究指導教員は、学生が記入し提出した学生ごとの研究指導計画書の研究計画欄の記載に沿って指導計画をたて、指定の用紙に記入し保管します。
- ④ 主研究指導教員は毎年、または必要時研究指導計画書を更新し、学生と副研究指導教員決定後は副研究指導教員に明示します。
- ⑤ 主研究指導教員は、研究指導報告書を指定の用紙に記載し、論文の審査結果と同時に研究指導計画書、研究指導報告書を提出します。

博士論文の研究指導計画

	指導時期	研究指導事項	研究指導プロセス・方法
入学前	入学願書 出願前	主研究指導教員の選択	出願前に事前相談を行い、希望する研究テーマ、研究計画書、準備状況及び研究・実践業績、修士論文等を確認し、教育課程並びに指導教員との適合性について確認の上、出願時に希望する分野と主研究指導教員を申告する。
1 年 次	4月	主研究指導教員の決定	主研究指導教員は、学生の希望を尊重し、受験前からの事前相談、入学後のオリエンテーションに基づき、看護学研究科委員会で決定する。主研究指導教員は、学生の教育・研究に必要となる授業科目について、シラバスと領域別履修モデルを参考にして履修指導を行う。学生の希望を尊重し、経験・能力等を考慮する。勤務を継続しながら修学する長期履修学生に対しては、勤務と履修の両立を考えながら履修計画を指導する。出願時の研究テーマ、研究計画書を見直し深め、国内外の文献検討及びディスカッションを通じて研究課題を洗練し、研究デザインの選定と研究プロセスを踏まえて研究計画書の作成を指導する。予備研究を実施する場合、主研究指導教員は、その研究計画と倫理的配慮について指導を行う。研究倫理審査委員会に研究倫理審査申請書、添付資料、研究計画書を提出し、審査を受ける。予備研究の進捗状況を確認し、実施状況並びにデータ分析について指導を行う。研究が円滑に進行するように問題点や解決方法等の助言を行う。
	随 時	副研究指導教員の決定	主研究指導教員が研究計画及び論文全般について指導するのに対し、副研究指導教員は、主研究指導教員と協力して学生の研究指導を補助的に行う。
1 ・ 2 年 次	研究指導教員決定以降随時	研究計画書発表会	研究計画がまとまった時点で研究計画書発表会を開催し、主研究指導・副研究指導教員以外からも指導が受けられるようにする。 ※研究計画は随時提出できるようにする。
2 年 次	研究指導教員決定以降随時	研究計画書の提出	主研究指導教員と副研究指導教員は協力し、学生が研究計画書を作成し、提出できるように指導する。
	研究指導教員決定以降随時	研究計画書及び研究倫理の審査	提出された研究計画書は、看護学研究科委員会で主査、副査を選任し、研究計画書の事前審査を行う。看護学研究科委員会で研究計画書の事前審査結果の報告についての審議を行う。 合格した学生は、研究倫理審査委員会に本研究（複数実施する場合は最初の研究）の研究倫理審査申請書、添付資料及び研究計画書を提出し、審査を受ける。研究倫理審査の申請に際し、主研究指導教員と副研究指導教員は、研究における倫理的配慮について指導を行う。 必要に応じて、調査施設の研究倫理審査を受審する。学生は研究倫理審査の承認を得て研究を開始する。
	研究計画書及び研究倫理審査終了後	研究の実施 研究成果の論文の投稿	主研究指導教員は、研究の進捗状況を確認し、実施状況並びにデータ分析について指導を行う。研究が円滑に進行するように問題点や解決方法等の助言を行う。研究成果を論理的かつ系統的に記述できるように論文の作成を導く。 本研究を複数実施する場合、研究の進捗状況に合わせ、それぞれの研究について研究倫理審査委員会に研究倫理審査申請書、添付資料、研究計画書を提出し、審査を受ける。 研究成果については学術雑誌に投稿できるよう主研究指導教員、副研究指導教員は指導する。

3 年 次	1 月初旬	博士論文提出	主研究指導教員と副研究指導教員は協力し、学生が博士論文を作成し、提出できるように指導する。提出前に博士後期課程修了に必要な修得単位を確認するように助言する。 提出にあたり、博士論文に関連する査読付きの学術雑誌に掲載又は掲載受理された論文別刷等を添付する。
	2 月上旬	公聴会での発表と博士論文審査と最終試験	公聴会には主査、副査を含む教授・准教授・大学院生が参加し、質疑応答を行う。 その後、博士論文は、大学院学則並びに看護学研究科論文審査基準に基づき、主査、副査による審査を行い、論文の修正が必要な点等は指導する。論文審査後に主査、副査による最終試験を行う。審査委員会は、論文の修正点等の確認後、博士論文の審査結果と最終試験の審査結果の要旨を看護学研究科委員会に提出する。
	2 月中旬	論文審査と最終試験の可否判定	看護学研究科委員会で主査は審査結果の報告を行い、可否を判定する。
	3 月中旬	博士論文内容の要旨と学位論文審査結果の要旨の公開 博士論文の提出と公表	学位論文審査及び最終試験に合格した学生は、学位論文を PDF 化し、記憶媒体に格納し、指示された方法で提出する。 学位論文審査に合格した博士論文は、学位論文の公表に関する取扱要領（以下、取扱要領）に基づき、原則として学術機関リポジトリに公表するものとする。ただし、取扱要領第 7 条に定める学位論文を公表しないやむを得ない事由があるときは、取扱要領第 4 条に定める手続きを速やかに行わなければならない。 学位論文審査に合格した博士論文については、その内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を本学ホームページで公開する。

※長期履修学生は、主研究指導教員と相談の上、研究計画を立ててください。

※3 年以上在学し 9 月末修了をしようとする者の場合は以下のようなスケジュールとなります

6 月上旬：博士論文審査願の提出

7 月初旬～中旬：博士論文審査申請書・博士論文の提出

7 月中旬～8 月上旬：博士論文報告会、論文審査と最終試験

8 月初旬：最終博士論文提出

8 月下旬～9 月上旬：論文審査と最終試験の可否判定

（3）研究課題の設定と研究計画書の作成指導

1 年次、主研究指導教員は、学生が実践に根差した研究課題を見出すことができるよう文献研究や実践の場における予備調査研究の指導を行います。

学生は、1 年次に博士論文作成の基礎となる、実践に根差した独創性の高い研究課題を見出します。コースワーク終了後、各学生が主研究指導教員と副研究指導教員 2 名以上から指導を受けることができる体制を看護学研究科委員会で整えます。

副研究指導教員は、研究内容・方法に応じた教員 2 名以上とし、必要に応じて外部有識者に依頼する場合があります。

主研究指導教員と副研究指導教員は、学生が博士論文研究計画書審査と博士論文倫理審査を受けるための指導を行います。また、論文作成のための研究方法、データ収集・分析等の指導を行います。主研究指導教員と副研究指導教員の指導のもとに、研究計画

書の作成を開始します。また、研究計画書発表会において主研究指導教員、副研究指導教員以外の教員から指導を受けたあと学生は、博士論文研究計画書最終版を看護学研究科委員会に提出します。

(4) 研究計画書発表会

① 研究計画書の作成

【様式】

A4 判横書き 7～8 枚程度（枚数には表紙・文献を含まず、図表は含む）余白は、上下左右 30 mm 文字サイズは 10.5 ポイントです。

表紙には下記の項目を表記してください。

- ・研究課題（和文題目は英訳・英文題目は和訳を併記）
- ・提出年月日
- ・学籍番号、氏名
- ・主研究指導教員名

【内容】

(a) 研究計画書には最低限以下の項目を含み、必要に応じて項目を追加してください。

- ・目的と意義
- ・研究方法
- ・倫理的配慮
- ・引用文献

(b) 十分な文献検討の上、適宜文献を引用してください。

(c) 本文中に図表を用いても構いません。

② 研究計画審査願・研究計画書の提出

研究計画審査願（様式 1）を作成し、研究計画書と一緒に提出します。

提出時期：看護学研究科が指定する日

（締切日が土日・祝日の場合、直前の金曜日となります）

提出場所：看護学研究科事務室

提出部数：研究計画審査願 1 部、研究計画書 2 部

③ 研究計画書発表会の開催

- ・研究計画書発表会は、原則として提出の翌月の教授会開催日に開催します。
- ・検討時間は一人 30 分程度を目安とし、10 分程度の学生による発表の後、質疑応答・意見交換を行います。各主研究指導教員が進行を行います。
- ・発表にはパワーポイントを用いることができます。
- ・発表会では資料として研究計画書のコピーを学生が配布します。
- ・発表会終了後に資料は回収します。

- ・研究計画書発表会は、主研究指導教員および副研究指導教員以外からも指導を受けられるようにします。なお、参加者は、研究計画書を事前に設定した時間内に閲覧できます。
- ・発表会后、意見を整理し、申請者は研究計画書の修正を行います。

（５）研究計画書の事前審査

提出された研究計画書は、看護学研究科委員会で主査、副査を選任し、研究計画書の事前審査を行います。看護学研究科委員会で研究計画書の事前審査結果の報告についての審議を行います。

合格した学生は、看護学研究科研究倫理審査委員会に本研究（複数実施する場合は最初の研究）の研究倫理審査申請書、添付資料及び研究計画書を提出し、審査を受けます。

（６）研究倫理審査

研究倫理審査については看護学研究科研究倫理審査委員会を組織し、委員会規程にそって審査を行います。

看護学研究科研究倫理審査委員会では、人間を対象とする研究を審査の対象とし、審査対象となる研究において、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等の趣旨に沿った倫理的配慮がなされているかを審査します。同委員会は、本学の看護学部・看護学研究科教員他、看護学研究科以外の教員、学外の学識経験者等から構成されており、研究目的に倫理的問題がないか、研究方法は対象者の人権を擁護し、安全に対して適切に配慮されているか、予測される不利益及び危険性に対して適切に配慮されているか、対象者に研究協力の同意を得る方法は適切か、研究で得られたデータの取り扱いは適切か、研究成果の公表の際、対象者の匿名性を確保し、プライバシーを保護しているか等について審査します。

学生は、博士論文に関する研究計画書に基づいて、研究倫理審査申請書を作成し、指導教員の指導を受け、期限までに看護学研究科研究倫理審査委員会に研究倫理審査申請を行います。研究倫理審査申請前には、看護学研究科が定める研究倫理教育（APRIN eラーニングプログラム；旧 CITI Japan）を受講します。

年度 大阪公立大学大学院看護学研究科 博士後期課程研究指導計画書

年 月 日作成

年 月 日修正

年 月 日修正

学籍番号			フリガナ 学生氏名		
領域・分野名		年次	入学 年次	入学 年度	年度
研究題目	研究室や個人のテーマなど、より詳細に、具体的に記載してください。				
主研究指導教員名					

○研究計画（学生が記入し、主研究指導教員に提出）：（研究計画・方法、学会発表、論文作成等の計画を記載）

1 年次 4 月～1 月：研究計画の立案

指導教員と相談し、決定した研究課題に関して先行研究を整理し研究計画を立案する。

1・2 年次研究指導教員決定以降随時：研究計画書発表会

研究計画について、発表会で報告する。

研究計画書発表会実施後随時：研究計画書及び研究倫理の審査

研究倫理審査委員会に本研究（複数実施する場合は最初の研究）の研究倫理審査申請書、添付資料及び研究計画書を提出し、審査を受ける。

研究計画書及び研究倫理審査終了後：研究の実施

研究計画に従って研究を迫行する

2 年次：研究成果の論文の投稿

これまでの研究成果をもとに博士論文の作成を開始し、指導教員のもとで博士論文をまとめる。

3 年次 1 月初旬：博士論文提出

3 年次 2 月：公聴会での発表及び博士論文審査と最終試験

博士論文の提出・公表

博士論文を指定する期日までに提出し、公開の発表会で論文の内容を発表する。

1 年間の研究計画がわかりやすくなるように、1 年ごとに記載してください。

研究室や個人のテーマなど、より詳細に、具体的に記載してください。

○研究指導計画（主研究指導教員が記入、年 1 回および必要時更新する）

1 年次 4 月～1 月：研究計画の立案

学生と相談して決定した学生の研究課題・研究計画立案について、その研究計画と倫理的配慮について指導する。予備研究の進捗状況を確認し、実施状況並びにデータ分析について研究が円滑に進行するように問題点や解決方法等の助言を行う。

研究指導計画を学生と副研究指導教員決定後は副研究指導教員に明示する。

1・2 年次研究指導教員決定以降随時：研究計画書発表会

発表会に向けてプレゼンテーション方法等について指導する。

研究計画書発表会実施後随時：研究計画書及び研究倫理の審査

研究における倫理的配慮について指導を行う。

研究計画書及び研究倫理審査終了後：研究の実施

2 年次：研究成果の論文の投稿

研究の成果を論理的かつ系統的に記述できるように論文の作成を導く。

3 年次 1 月上旬：博士論文提出

3 年次 2 月：公聴会での発表及び博士論文審査と最終試験

1 年間の研究指導計画がわかりやすくなるように、1 年ごとに記載してください。

年度 大阪公立大学大学院看護学研究科 博士後期課程研究指導報告書

年 月 日作成

年 月 日修正

年 月 日修正

学籍番号			学生氏名		
領域・分野名		年次	年次	入学年度	年度
研究題目					
主研究指導教員名		副研究指導教員名			

○研究指導報告（研究指導計画書から異なった指導を行った場合はその内容を記載してください。主研究指導教員が記入し、看護学研究科事務室に提出）

研究指導計画書に基づき指導を進めた。

その中で研究計画書発表会において「〇〇」について不足していると指摘を受け、該当部分について予備的な実験を行うように指示した。

また、論文作成時に△△の解析について知識が不足していることが判明したので、書籍を紹介した。

研究指導計画書から変更がない場合は、研究指導計画書の通り指導を行った、旨をご記載ください。

○研究業績等

学会発表・投稿論文・受賞等や特記事項があれば記載してください。

29. 博士後期課程修了要件

15 単位以上の修得に加え、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格することとします。

必修科目 9 単位、選択科目 6 単位とし、大学院共通教育科目から 1 単位（必修 1 単位）、専門科目から 14 単位（必修 8 単位 選択 6 単位）を修得し、15 単位以上修得します。なお、先進ケア科学領域では、専門科目の専門基礎科目の選択科目うち、「ケア科学研究総論」は必修、「生体行動評価論」または「ケアシステム開発論」から 1 単位を選択必修科目とします。

実践看護科学領域では、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「看護学研究方法論」は必修、「看護理論開発方法論」、「生体行動評価論」、「ケアシステム開発論」、「看護学研究方法論演習」から 1 単位を選択必修科目とします。

30. 学位論文と学位

(1) 学位の授与

本研究科博士後期課程を修了した者には、博士（看護学）の学位を授与します。

(2) 学位申請資格

本研究科博士後期課程に 3 年以上在籍し、所定の単位を修得した者、あるいは修得見込みの者は、学位の申請をすることができます。

(3) 学位論文の要件

① 博士論文の主要な部分を記載した論文※ を専門学術誌に原著論文として公表されていることを要件とします。英語論文での公表が望ましいです。

専門学術誌とは、国内専門学術誌（学位申請前3年以内に、日本学術会議に明記されている学術誌に登録されている専門学術誌）と海外専門学術誌（PubMed、Science Citation Index Expanded 等に収録されている学術誌）のことを指します。

原著論文であることが明示されていない場合は、論文審査委員会で専門学術誌の投稿規程を検討し原著論文であるかを審査します。

※ 博士論文の主要な部分を原著とした論文とは、博士論文を構成する研究の一部を査読付きの専門学術誌に投稿し、原著論文として掲載又は掲載受理された論文のことをいう。

② 原則として、単著論文であることを要件とします。ただし、共著論文による学位の申請の場合は、学位申請者が筆頭著者であること、当該論文の中心的役割を果たしていること、共同研究者も論文が博士論文として提出されることを承諾していることを文書で確認し、論文審査会にて申請が可能か審査します。共著者の範囲は研究指導教員、共同研究者がいなければ、研究の遂行が難しい場合の共同研究者とします。

(4) 学位論文審査申請方法

学位論文提出時期・提出書類

学位申請資格を有し、学位の審査を希望する者は、定められた期日までに、以下の博士論文審査申請書等の書類一式を看護学研究科事務室に提出してください。

- | | |
|---|-------|
| ① 学位授与申請書 | 1 部 |
| ② 博士論文 | 4 部 |
| ③ 学位論文の要旨（和文・英文） | 各 4 部 |
| ④ 主要論文（学術雑誌に掲載された論文別刷り等、
または掲載予定の場合は、論文原稿および受領証明書） | 4 部 |
| ⑤ 共著者の承諾書 | 4 部 |
| ⑥ 論文目録 | 4 部 |
| ⑦ 履歴書 | 4 部 |
| ⑧ 博士論文（学術機関リポジトリ掲載）確認書 | 1 部 |

(5) 博士論文審査方法

① 公聴会

博士の学位が審査に付された際に公聴会を開催するので、この会において博士論文を口頭発表します。公聴会には主査、副査を含む看護学研究科教授の 3 分の 2 以上が必ず出席しなければならない。なお、その他の本研究科所属教員、本研究科所属学生、その他関係者に公開とします。

公聴会開催時期は、原則として 3 年次の 1 月の最終木曜日に開催します。

一人につき博士論文の発表時間は 20 分程度、質疑応答は 10 分程度とします。公聴会ではコピーした資料を配布します。発表にはパワーポイントを用いることができます。公聴会の進行は各主査が行います。

【公聴会資料の提出】

提出時期：開催日の 7 日前まで（7 日前が土日・祝日の場合、その前日とする）

提出場所：看護学研究科事務室

提出部数：2 部

資料の内容：目的（意義・研究背景）、研究方法、倫理的配慮、結果、考察、結論を含むこと

資料の様式：A 4 判横書き、枚数 2 枚（表紙を除く。図表を含める）、余白は上下左右 30mm、文字サイズは 10.5 ポイント。表紙には下記の項目を表記する。

- ・ 研究課題（和文題目は英訳・英文題目は和訳を併記）
- ・ 学籍番号、氏名
- ・ 主研究指導教員名

② 博士論文審査

・ 論文審査委員

論文審査委員は、審査の公平性、厳格性、透明性を確保するため、博士の学位が審査に付された際に、看護学研究科委員会が指名した教授 3 名以上とし、主査 1 名と副査 2 名以上で論文審査と口頭試問を実施します。主査は、主研究指導教員以外の教授とします。

審査委員会は、審査のため必要があると認める時は、審査委員会の申し出に基づき看護学研究科委員会の議を経るものとします。審査委員となることができる者は以下のとおりとします。

- ◆ 本研究科の教員で、博士後期課程の授業または指導を担当している者
- ◆ 本学の他の研究科に所属する教員で、博士後期課程の授業または指導を担当している者
- ◆ 他大学の研究科に所属する教員で、博士後期課程の授業または指導を担当している者
- ◆ その他前各号と同等の学識があると認められる者

・ 審査の方法

論文審査委員会は、公聴会以降に博士論文を中心として、広くこれに関連した事項について論文審査及び口頭試問を 1 時間実施します。審査は、大学院学則並びに看護学研究科論文審査基準に基づき実施します。審査終了後、引き続き最終試験を 1 時間実施します。

・ 博士論文評価基準

【満たすべき水準】

博士論文は博士後期課程のディプロマ・ポリシーに基づき、看護学領域において研究者として自立して研究活動を行える高度な研究能力およびその基礎となる豊かな学識、倫理的態度を証示するに足るものであって、かつ社会実装化することを視野に入れ、看護に関わる新たな知見を創出するものであることをもって、その基準とします。

【評価項目】

- ◆ 看護学への貢献・学術的重要性が認められる。
- ◆ 研究に独創性があり、新規性のある成果が認められる
- ◆ 科学的根拠に基づく適切な研究方法が用いられ、分析結果が妥当である
- ◆ 研究計画、研究実施に際して十分な倫理的配慮がなされている
- ◆ 論旨が明確で、論理構成が適切である

③ 最終試験

博士後期課程で修得した学識などを含め、博士後期課程のディプロマ・ポリシーに基づき学位を授与するに十分であるかどうかを評価するため、総合的に口頭試験を行います。

④ 学位授与の決定

論文審査委員会は、論文の修正点等の確認後、審査委員による審査結果および最終試験結果に基づく審議を経て、合否判定を行い、看護学研究科委員会へ報告します。看護学研究科委員会は、論文審査委員会の報告を受け、学位授与の可否の判定を行います。

(6) 博士論文の最終提出

学位授与式終了時までに、博士論文1部全文・要旨の電子データを提出してください。学術情報リポジトリで非公開の場合は、博士論文全文の冊子体を提出してください。

3 1. 博士後期課程標準履修課程

区分	領域	授 業 科 目	単位数			授業時間数		1年次		2年次		3年次	
			必修	選択	自由	講義	演習	前期	後期	前期	後期	前期	後期
大学院 共通 教育 科目		研究公正B	1			大学院共通教育科目については、国際基幹教育 機構開設科目要覧(大学院生用)を参照							
		イノベーション創出型研究者養成1			2								
		イノベーション創出型研究者養成2A			1								
		イノベーション創出型研究者養成2B			1								
		イノベーション創出型研究者養成2C			1								
		イノベーション創出型研究者養成2D			1								
		イノベーション創出型研究者養成2E			1								
		イノベーション創出型研究者養成2F			1								
		イノベーション創出型研究者養成2G			1								
		イノベーション創出型研究者養成2H			1								
		イノベーション創出型研究者養成3			2								
		イノベーション創出型研究者養成4			2								
		医療の品質管理B			2								
		大学教育実践演習			1								
専門 科目	専門 基礎 科目	ケア科学研究総論		1		15		○		○			
		生体行動評価論		1		15		○		○			
		ケアシステム開発論		1		15		○		○			
		看護学研究方法論		1		15		○					
		看護学研究方法論演習		1			30		○				
		看護理論開発方法論		1		15			○				
	実践 看護 科学 科目	基礎看護科学特講		2		30		○					
		基礎看護科学演習		2			60		○				
		家族支援看護科学特講		2		30		○					
		家族支援看護科学演習		2			60		○				
		生活支援看護科学特講		2		30		○					
		生活支援看護科学演習		2			60		○				
		療養支援看護科学特講		2		30		○					
		療養支援看護科学演習		2			60		○				
	先進 ケア 科学 科目	ヒューマンケア研究特講		2		30		○					
		ヒューマンケア後期研究演習		2			60		○				
		がん包括ケア特講		2		30		○					
		がん包括ケア後期研究演習		2			60		○				
		療養ケア研究特講		2		30		○					
		療養ケア後期研究演習		2			60		○				
		高齢者生活行動ケア研究特講		2		30		○					
		高齢者生活行動ケア後期研究演習		2			60		○				
		精神行動ケア研究特講		2		30		○					
		精神行動ケア後期研究演習		2			60		○				
		地域包括ケアシステム研究特講		2		30		○					
		地域包括ケアシステム後期研究演習		2			60		○				
		ウイメンズヘルスケア研究特講		2		30		○					
		ウイメンズヘルスケア後期研究演習		2			60		○				
		子ども・家族ケア研究特講		2		30		○					
		子ども・家族ケア後期研究演習		2			60		○				
		ヘルスプロモーションケア研究特講		2		30		○					
		ヘルスプロモーションケア後期研究演習		2			60		○				
		健康支援基礎科学特講		2		30		○					
		健康支援基礎科学演習		2			60		○				
	共 通 科 目	特別研究1	2			60	○	○					
		特別研究2	2			60				○	○		
		特別研究3	4			120						○	○

32. 博士後期課程領域別履修モデル

博士後期課程 実践看護科学領域 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

区 分	科 目 名	開講時期		単 位	必修・推奨 科目	修了要件 単位数 (15単位以上)		
		前期	後期					
大学院共通教育科目	研究公正B	大学院共通教育科目については、国際 基幹教育機構開設 科目要覧(大学院生 用)を参照		1	必	必修1単位		
	イノベーション創出型研究者養成1			2				
	イノベーション創出型研究者養成2A			1				
	イノベーション創出型研究者養成2B			1				
	イノベーション創出型研究者養成2C			1				
	イノベーション創出型研究者養成2D			1				
	イノベーション創出型研究者養成2E			1				
	イノベーション創出型研究者養成2F			1				
	イノベーション創出型研究者養成2G			1				
	イノベーション創出型研究者養成2H			1				
	イノベーション創出型研究者養成3			2				
	イノベーション創出型研究者養成4			2				
	医療の品質管理B			2				
大学教育実践演習	1							
専門科目	専門基礎科目	ケア科学研究総論	○		1		必修1単位 選択必修 1単位以上	14単位以上
		生体行動評価論	○		1	選必		
		ケアシステム開発論	○		1	選必		
		看護学研究方法論	○		1	必		
		看護学研究方法論演習		○	1	選必		
		看護理論開発方法論		○	1	選必		
	実践看護科学科目	基礎看護科学特講	○		2	選	選択4単位	
		基礎看護科学演習		○	2	選		
		家族支援看護科学特講	○		2	選		
		家族支援看護科学演習		○	2	選		
		生活支援看護科学特講	○		2	選		
		生活支援看護科学演習		○	2	選		
		療養支援看護科学特講	○		2	選		
		療養支援看護科学演習		○	2	選		
	先進ケア科学科目	ヒューマンケア研究特講	○		2			
		ヒューマンケア後期研究演習		○	2			
		がん包括ケア特講	○		2			
		がん包括ケア後期研究演習		○	2			
		療養ケア研究特講	○		2			
		療養ケア後期研究演習		○	2			
		高齢者生活行動ケア研究特講	○		2			
		高齢者生活行動ケア後期研究演習		○	2			
		精神行動ケア研究特講	○		2			
		精神行動ケア後期研究演習		○	2			
		地域包括ケアシステム研究特講	○		2			
		地域包括ケアシステム後期研究演習		○	2			
		ウィメンズヘルスケア研究特講	○		2			
		ウィメンズヘルスケア後期研究演習		○	2			
		子ども・家族ケア研究特講	○		2			
		子ども・家族ケア後期研究演習		○	2			
		ヘルスプロモーションケア研究特講	○		2			
		ヘルスプロモーションケア後期研究演習		○	2			
	健康支援基礎科学特講	○		2				
	健康支援基礎科学演習		○	2				
	研究	特別研究1	○	○	2	必	8単位	
		特別研究2	○	○	2	必		
		特別研究3	○	○	4	必		

1. 大学院共通教育科目 1単位(必修1単位)

2. 専門科目 14単位(必修8単位 選択6単位)

※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「看護学研究方法論」は必修、「看護理論開発方法論」、「生体行動評価論」、「ケアシステム開発論」、「看護学研究方法論演習」から1単位を選択必修とする。

※専門科目の実践看護科学科目の選択科目のうち、在籍する分野に関連する科目の特講2単位、演習2単位を選択とする。

博士後期課程 先進ケア科学領域 履修モデル

このモデルは履修の一例である。教員と相談の上、履修すること

区 分	科 目 名	開講時期		単位	必修・推奨科目	修了要件 単位数 (15単位以上)	
		前期	後期				
大学院共通教育科目	研究公正B	大学院共通教育科目 については、国際基 幹教育機関開設科目 要覧(大学院生用)を 参照		1	必	必修1単位	
	イノベーション創出型研究者養成1			2			
	イノベーション創出型研究者養成2A			1			
	イノベーション創出型研究者養成2B			1			
	イノベーション創出型研究者養成2C			1			
	イノベーション創出型研究者養成2D			1			
	イノベーション創出型研究者養成2E			1			
	イノベーション創出型研究者養成2F			1			
	イノベーション創出型研究者養成2G			1			
	イノベーション創出型研究者養成2H			1			
	イノベーション創出型研究者養成3			2			
	イノベーション創出型研究者養成4			2			
	医療の品質管理B			2			
	大学教育実践演習			1			
専門科目	専門基礎科目	ケア科学研究総論	○	1	必	必修1単位	選択必修 1単位以上
		生体行動評価論	○	1	選必		
		ケアシステム開発論	○	1	選必		
		看護学研究方法論	○	1			
		看護学研究方法論演習		○	1		
		看護理論開発方法論		○	1		
	実践看護科学科目	基礎看護科学特講	○	2			
		基礎看護科学演習		○	2		
		家族支援看護科学特講	○	2			
		家族支援看護科学演習		○	2		
		生活支援看護科学特講	○	2			
		生活支援看護科学演習		○	2		
		療養支援看護科学特講	○	2			
		療養支援看護科学演習		○	2		
	先進ケア科学科目	ヒューマンケア研究特講	○	2	選	選択4単位	14単位以上
		ヒューマンケア後期研究演習		○	2		
		がん包括ケア特講	○	2	選		
		がん包括ケア後期研究演習		○	2		
		療養ケア研究特講	○	2	選		
		療養ケア後期研究演習		○	2		
		高齢者生活行動ケア研究特講	○	2	選		
		高齢者生活行動ケア後期研究演習		○	2		
		精神行動ケア研究特講	○	2	選		
		精神行動ケア後期研究演習		○	2		
		地域包括ケアシステム研究特講	○	2	選		
		地域包括ケアシステム後期研究演習		○	2		
		ウイメンズヘルスケア研究特講	○	2	選		
		ウイメンズヘルスケア後期研究演習		○	2		
		子ども・家族ケア研究特講	○	2	選		
		子ども・家族ケア後期研究演習		○	2		
		ヘルスプロモーションケア研究特講	○	2	選		
		ヘルスプロモーションケア後期研究演習		○	2		
	研究	健康支援基礎科学特講	○	2	選	8単位	
		健康支援基礎科学演習		○	2		
		特別研究1	○	○	2		
		特別研究2	○	○	2		
		特別研究3	○	○	4		

1.大学院共通教育科目 1単位(必修1単位)

2.専門科目 14単位(必修8単位 選択6単位)

※なお、専門科目の専門基礎科目の選択科目のうち、「ケア科学研究総論」は必修、「生体行動評価論」または「ケアシステム開発論」から1単位を選択必修とする。

※専門科目の先進ケア科学科目の選択科目のうち、在籍する分野に関連する科目の特講2単位、演習2単位を選択とする。

研究指導に関する要領

看護学研究科博士前期課程における研究指導に関する要領

(目的)

第1条 この要領は、大阪公立大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第5条の規定により、看護学研究科博士前期課程における研究指導に関し必要な事項を定めるものとする。

(主研究指導教員)

第2条 研究指導は、看護学研究科委員会が指名した教員（以下「主研究指導教員」という）によって行われる。

- 2 主研究指導教員は、研究指導とともに授業科目の履修相談及び学位論文に対する指導を行う。
- 3 主研究指導教員は、学生ごとに1名を定めるものとする。

(決定方法)

第3条 学生は、原則として自らの研究計画に基づき、主研究指導教員を選択することができる。

- 2 主研究指導教員の選択方法については、次のとおりとする。
 - (1) 学生は、事前に研究室訪問及び面談等を経た上で、大学院入試の出願時に、指導を希望する教員を選択する。
 - (2) 研究科は、入試時の面接（及び研究計画書）をもとに、研究指導体制を検討の上、4月の看護学研究科委員会において主研究指導教員を決定する。なお、指導を希望する教員への受入ができない場合、関連する研究分野の教員と学生が面談を行い、学生の希望を再度確認した上で主研究指導教員を決定する。
- 3 研究科は、主研究指導教員を決定した後、掲示により速やかに学生に発表する。

(副研究指導教員)

第4条 主研究指導教員に加え、看護学研究科委員会が指名した教員（以下「副研究指導教員」という）を置き、研究に対する指導及び助言を行う。

- 2 副研究指導教員は、学生ごとに2名以上を定めるものとする。
- 3 副研究指導教員は、研究科において研究指導体制を検討の上決定する。

(研究指導計画の明示)

第5条 主研究指導教員は、あらかじめ、研究指導計画を作成し、毎年度、学生に研究指導計画書を用いて明示するものとする。

- 2 研究指導計画においては、修了までのプロセスを明示するものとする。

(学位論文の提出)

第6条 学位論文提出及び審査については、看護学研究科規程第13条及び看護学研究科学位論文審査実施要項に定める。

(研究指導の報告)

第7条 研究指導教員は、研究指導報告書を作成し、研究科に報告するものとする。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、研究指導に関し必要な事項は、研究科が定める。

(改廃)

第9条 この要領の改廃は、看護学研究科委員会の議を経て決定する。

附則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

看護学研究科博士後期課程における研究指導に関する要領

(目的)

第1条 この要領は、大阪公立大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第5条の規定により、看護学研究科博士後期課程における研究指導に関し必要な事項を定めるものとする。

(主研究指導教員)

第2条 研究指導は、看護学研究科委員会が指名した教員（以下「主研究指導教員」という）によって行われる。

- 2 主研究指導教員は、研究指導とともに授業科目の履修相談及び学位論文に対する指導を行う。
- 3 主研究指導教員は、学生ごとに1名を定めるものとする。

(決定方法)

第3条 学生は、原則として自らの研究計画に基づき、主研究指導教員を選択することができる。

- 2 主研究指導教員の選択方法については、次のとおりとする。
 - (1) 学生は、事前に研究室訪問及び面談等を経た上で、大学院入試の出願時に、指導を希望する教員を選択する。
 - (2) 研究科は、入試時の面接（及び研究計画書）をもとに、研究指導体制を検討の上、4月の看護学研究科委員会において主研究指導教員を決定する。なお、指導を希望する教員への受入ができない場合、関連する研究分野の教員と学生が面談を行い、学生の希望を再度確認した上で主研究指導教員を決定する。
- 3 研究科は、主研究指導教員を決定した後、掲示により速やかに学生に発表する。

(副研究指導教員)

第4条 主研究指導教員に加え、看護学研究科委員会が指名した教員（以下「副研究指導教員」という）を置き、研究に対する指導及び助言を行う。

- 2 副研究指導教員は、学生ごとに2名以上を定めるものとする。
- 3 副研究指導教員は、研究科において研究指導体制を検討の上決定する。

(研究指導計画の明示)

第5条 主研究指導教員は、あらかじめ、研究指導計画を作成し、毎年度、学生に研究指導計画書を用いて明示するものとする。

- 2 研究指導計画においては、修了までのプロセスを明示するものとする。

(学位論文の提出)

第6条 学位論文提出及び審査については、看護学研究科規程第13条及び看護学研究科学位論文審査実施要項に定める。

(研究指導の報告)

第7条 研究指導教員は、研究指導報告書を作成し、研究科に報告するものとする。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、研究指導に関し必要な事項は、研究科が定める。

(改廃)

第9条 この要領の改廃は、看護学研究科委員会の議を経て決定する。

附則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

Ⅲ. 大阪公立大学及び大阪公立大学工業高等 専門学校の学術研究に係る行動規範

令和3年12月8日制定

大阪公立大学及び大阪公立大学工業高等専門学校（以下「本学等」という。）は、本学等で行われる学術研究の信頼性及び公平性を確保することを目的として、本学等において研究活動を行うすべての者（以下「研究者」という。）及び本学等における研究活動の支援等に携わるすべての構成員（以下「構成員」という。）に対し、学術研究活動及び学術研究活動の支援等を遂行する上で求められる行動規範を日本学術会議「科学者の行動規範」（平成18年10月3日制定、平成25年1月25日改定）に準拠してここに定める。

なお、この行動規範に言う研究者とは、学生を含めて、本学等において研究活動に携わるすべての者を指す。

第1章 研究者の責務

（研究者の基本的責任）

- 1 研究者は、自らが生み出す専門知識や技術の質を担保する責任を有し、さらに自らの専門知識、技術、経験を活かして、人類の健康と福祉、社会の安全と安寧、そして地球環境の持続性に貢献するという責任を有する。

（研究者の姿勢）

- 2 研究者は、常に正直、誠実に判断、行動し、自らの専門知識・能力・技芸の維持向上に努め、研究活動によって生み出される知の正確さや正当性を科学的に示す最善の努力を払う。

（社会の中の研究者）

- 3 研究者は、学術研究の自律性が社会からの信頼と負託の上に成り立つことを自覚し、科学・技術と社会・自然環境の関係を広い視野から理解し、適切に行動する。

（社会的期待に応える研究）

- 4 研究者は、社会が抱く真理の解明や様々な課題の達成へ向けた期待に応える責務を有する。研究環境の整備や研究の実施に供される研究資金の使用にあたっては、そうした広く社会的な期待が存在することを常に自覚する。

（説明と公開）

- 5 研究者は、社会に対して、自らが携わる学術研究の意義と役割を公開して積極的に説明し、その研究が人間、社会、環境に及ぼし得る影響や起こし得る変化を評価し、その結果を中立性・客観性をもって公表すると共に、社会との建設的な対話を築くように努める。

（学術研究の利用の両義性）

- 6 研究者は、自らの学術研究の成果が、研究者自身の意図に反して、破壊的行為に悪用される可能性もあることを認識し、研究の実施並びに成果の公表及び説明にあたっては、社会に許容される適切な手段と方法を周到に計画して選択する。

（研究グループの代表者の責務）

- 7 研究グループの代表者は、以下の責務を有する。また、研究グループ内のすべての研究者に本規範を周知し、本規範を逸脱することなく公正な研究が遂行できるようにする。

- ・ 研究実施や論文等の執筆・投稿の際の直接的に必要な確認
- ・ グループ内での確認体制の構築

- ・ グループ内における研究データの適切な取扱いと管理
- ・ グループ内の研究者が各自の能力を十分発揮できるような研究環境の整備

第2章 公正な研究

(研究活動)

- 8 研究者は、自らの学術研究の立案・計画・申請・実施・報告などの過程において、本規範の趣旨に沿って誠実に行動する。研究者は、研究成果を論文などで公表することで、各自が果たした役割に応じて功績の認知を得るとともに責任を負わなければならない。研究・調査データの記録保存や厳正な取扱いを徹底し、ねつ造、改ざん、盗用などの不正行為を為さず、また、これに加担・隠ぺい等を行わない。さらに、研究の実施や論文等の執筆・投稿等にあたり研究者が本来果たすべき確認等を怠った場合は、故意性の有無にかかわらず、不正行為の責任を負うべきものと認定されることを自覚する。

(研究環境の整備及び教育啓発の徹底)

- 9 研究者は、責任ある学術研究の実施と不正行為の防止を可能にする公正な環境の確立・維持も自らの重要な責務であることを自覚し、研究者コミュニティ及び自らの所属組織の研究環境の質的向上、ならびに不正行為抑止の教育啓発に積極的かつ継続的に取り組む。また、これを達成するために社会の理解と協力が得られるよう努める。

(研究対象などへの配慮)

- 10 研究者は、研究への協力者の人格、人権を尊重し、福利に配慮するとともに、個人情報管理には細心の注意を払う。また、動物などに対しては、真摯な態度でこれを扱う。

(他者との関係)

- 11 研究者は、他者の研究成果を適切に批判すると同時に、自らの研究に対する批判には謙虚に耳を傾け、誠実な態度で意見を交える。他者の知的成果などの業績を正当に評価し、名誉や知的財産権を尊重する。また、研究者コミュニティ、特に自らの専門領域における研究者相互の評価に積極的に参加する。

第3章 社会の中の学術研究

(社会との対話)

- 12 研究者は、社会と研究者コミュニティとのより良い相互理解のために、市民との対話と交流に積極的に参加する。また、社会の様々な課題の解決と福祉の実現を図るために、政策立案・決定者に対して政策形成に有効な科学的助言の提供に努める。その際、研究者の合意に基づく助言を目指し、意見の相違が存在するときはこれを解り易く説明する。

(科学的助言)

- 13 研究者は、公共の福祉に資することを目的として学術研究活動を行い、客観的で科学的な根拠に基づく公正な助言を行う。その際、研究者の発言が世論及び政策形成に対して与える影響の重大さと責任を自覚し、権威を濫用しない。また、科学的助言の質の確保に最大限努め、同時に科学的知見に係る不確実性及び見解の多様性について明確に説明する。

(政策立案・決定者に対する助言)

- 14 研究者は、政策立案・決定者に対して助言を行う際には、その知見が政策形成の過程において十分に尊重されるべきものであるが、政策決定の唯一の判断根拠ではないことを認識する。研究者コミュニティの助言とは異なる政策決定が為された場合、必要に応じて政策立案・決定者に社会への説明を要請する。

第4章 法令遵守等及び本学等の責務

(法令等の遵守)

- 15 研究者は、研究の実施、外部資金を含む研究費の使用等に当たっては、関係法令、関係省庁・学会の指針、本学等に適用される規程等を遵守する。

(差別の排除とハラスメントの防止)

- 16 研究者は、研究・教育・学会活動において、人種・民族、性的指向・性自認、社会的身分、門地、思想・信条、宗教、障害等によって個人を差別せず、科学的方法に基づき公平に対応して、個人の自由と人格を尊重する。
また、意図の有無にかかわらず、研究活動のなかでハラスメントが起こり得ることを認識して、その防止に努める。

(利益相反)

- 17 研究者は、自らの研究、審査、評価、判断、科学的助言などにおいて、個人と組織、あるいは異なる組織間の利益の衝突に十分に注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。

(環境・安全への配慮)

- 18 研究者は、研究実施上、環境・安全に対して有害となる可能性のあるもの（劇毒物、放射性同位元素、外来生物、遺伝子組換え生物等）を取り扱う場合には、関係法令、関係省庁・学会の指針、本学等に適用される規程等を遵守する。

(本学等の責務)

- 19 本学等は、以下の取り組みにより、研究の公正を確立・維持し不正を防止する管理・統括の責務を有する。
- ・ 研究倫理の確立
 - ・ 研究者倫理の向上
 - ・ 研究環境の整備
 - ・ 研究におけるコンプライアンスの確立
 - ・ 不正行為に対する適切な対応

(構成員の責務)

- 20 構成員は、研究者とともに本学等の研究活動の推進を担うという責任を自覚し、関係法令、本規範並びに本学等に適用される規程等を遵守し、本学等における研究活動の支援等を適切に行う責務を有する。また、研究の公正を実現し不正を防止するために必要な教育啓発に取り組む責務を有するとともに、ねつ造、改ざん、盗用などの不正行為に加担・隠ぺい等を行わない。

附則

- 1 この規範は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 公立大学法人大阪定款附則第2項の規定に基づき、大阪府立大学及び大阪市立大学が存続する期間においては、この行動規範における「大阪公立大学」を「大阪公立大学、大阪府立大学及び大阪市立大学」と読み替える。

大阪公立大学大学院 看護学研究科

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-5-17
阿倍野キャンパス

TEL 06-6645-3511 FAX 06-6645-3513

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの 3 丁目 7 番 30 号
羽曳野キャンパス

TEL 072-950-2111 FAX 072-950-2131